

第2期平生町スポーツ推進計画

【令和8年度～令和17年度】

スポーツで人とまちをつなぐ 元気な平生



令和8年3月

平生町

はじめに

本町では、国や県が示すスポーツ振興施策や「第四次平生町総合計画」を踏まえ、平成26年3月に「平生町スポーツ推進計画」（以下「第1期計画」という。）を策定し、その後、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする改定版により、スポーツ振興に取り組んでまいりました。この間、「スポーツで人とまちをつなぐ 元気な平生」の基本理念のもと、すべての町民がそれぞれの体力・技術・目的に応じてスポーツに親しみ、健康づくりに取り組むことができる環境整備を進めてまいりました。

第1期計画改定版の策定後には、令和3年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催などによりスポーツへの関心が高まる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制約を受ける状況が続きました。こうした中、本町では、感染症対策に配慮した身近な運動や屋外での活動などにより、新たな形でスポーツに向き合う取組も進めてまいりました。

このたび、第1期計画の成果と課題を検証し、国のスポーツ基本計画や山口県スポーツ推進計画、高齢化の進展や健康寿命延伸へのニーズ、部活動改革に向けた動き、多様なライフスタイルの変化などの社会情勢を踏まえ、令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする「第2期平生町スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画では、基本理念「スポーツで人とまちをつなぐ 元気な平生」を引き続き掲げ、第1期計画を継承・発展させた「生涯スポーツの推進」「スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援」「スポーツによるまちづくりと施設の整備」の3つの基本方針のもと、子どもから高齢者、また障がい者も含めすべての住民のスポーツ機会の充実、だれもが参加しやすい環境づくり、地域ぐるみの健康づくりと交流の推進などに取り組んでまいります。

今後も、関係機関・団体等との連携・協力を一層深め、様々なスポーツ推進施策を着実に推進してまいりたいと考えておりますので、皆様のさらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました平生町スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和8年3月

平生町教育委員会

教育長 中 本 稔

目次

第1章 計画策定の基本的考え方	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置付け	1
3 計画期間	2
第2章 スポーツを取り巻く現状	3
1 人口の推移と見通し	3
2 本町のスポーツの現状	4
(1) 町民意識調査の結果（平成24年調査との比較）	4
(2) 第1期計画の取組状況と課題	12
第3章 計画の基本理念と基本方針	16
1 基本理念	16
2 基本目標	16
3 基本方針	16
4 施策体系	17
第4章 施策とその推進に向けた取組	18
基本方針Ⅰ 生涯スポーツの推進	18
基本方針Ⅱ スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援	19
基本方針Ⅲ スポーツによるまちづくりと施設の整備	19
第5章 計画の推進体制	22
1 庁内関係課における連携・協力	22
2 スポーツ関係機関との連携	22
3 国や県との連携	22
参考資料	23
・スポーツに関する町民意識調査アンケート結果	23
平生町スポーツ推進審議会委員名簿	62

第1章 計画策定の基本的考え方

1 計画策定の趣旨

本町では、スポーツ基本法および国や県のスポーツ振興施策、本町の総合計画を踏まえ、総合的かつ計画的にスポーツ推進に取り組んでいくため「平生町スポーツ推進計画」を平成26年3月に策定（令和3年3月改定）し、スポーツの推進に努めてきました。

この間、国内では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催（令和3年）など、スポーツへの関心が非常に高まる一方で、令和2年から令和5年にかけては新型コロナウイルス感染症の感染拡大により¹、身近なスポーツイベントが相次いで中止されるなど、スポーツを取り巻く環境が大きく変化してきました。

こうした中、国においては、平成27年10月にスポーツ庁が創設され、令和4年3月には、国のスポーツ施策の方向性を示す指針となる「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。直近では、令和7年9月に、スポーツを取り巻く社会環境の変化に対応するため、「スポーツ基本法」が改正されました²。加えて、令和2年度からは、少子化の進行等を背景に学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への展開に向けた部活動改革が進められています。

県においては、平成28年4月に「観光スポーツ文化部」が創設され、スポーツのさらなる振興を図り、スポーツを通じた様々な取組を県の発展につなげていくため、「山口県スポーツ推進計画」の見直しが行われ、令和5年3月には、「やまぐちスポーツ推進プラン2022」が策定されました。

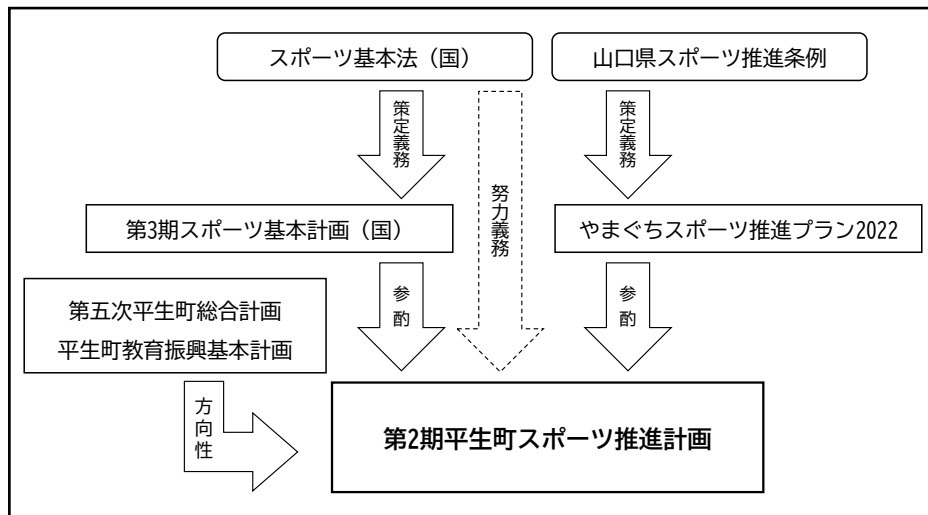
このように、国や県において社会情勢の変化等に応じて組織や計画を見直していることから、本町においても、これらの社会やスポーツを取り巻く環境の変化に的確に対応し、本町のスポーツの推進を効果的に進めるため、これまでの計画の進捗状況や課題等を踏まえた「第2期平生町スポーツ推進計画」を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づく地方スポーツ推進計画として位置付けられる計画であり、国の「第3期スポーツ基本計画」（令和4年3月策定）や「やまぐちスポーツ推進プラン2022」（令和5年3月策定）を参酌し、「第五次平生町総合計画」及び「平生町教育振興基本計画」の取組の方向性を踏まえながら、今後の平生町のスポーツ推進の指針となる基本理念や基本施策を定めるものとします。

¹ 令和2年4月に最初の緊急事態宣言が発令され、令和5年5月に感染症法上の位置付けが2類から5類へと移行された。

² 主な改正点：①前文において、『人種、性別、年齢、障害の有無等にかかわらず、スポーツに親しむことの機会を確保等』し、『多様な国民一人一人の生きがい及び幸福の実現等』（ウェルビーイングの向上）が図られなければならないことが明記された。②第17条の2において、「中学校の生徒が継続的にスポーツに親しむ機会の確保」について明記された。



3 計画期間

本計画は、令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10年間を計画期間とします。なお、国の制度変更や社会情勢の変化に応じて、本計画の改定等の必要が生じた場合には、平生町スポーツ推進審議会等の意見を踏まえ、適宜改定を行うものとしてします。

2019年度 (2019年)	令和 2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	4年度 (2022年)	5年度 (2023年)	6年度 (2024年)	7年度 (2025年)	8年度 (2026年)	9年度 (2027年)	10年度 (2028年)	11年度 (2029年)	12年度 (2030年)	13年度 (2031年)	…	17年度 (2035年)	
		第五次平生町総合計画 (令和3年度～令和12年度)													
		平生町教育振興基本計画 (令和3年度～令和7年度)					平生町教育振興基本計画 (令和8年度～令和12年度)								
		平生町スポーツ推進計画 (平成26年度～令和7年度)					第2期平生町スポーツ推進計画 (令和8年度～令和17年度)								
		見直し	改定版 (令和3年度～令和7年度)												
		【国】スポーツ基本計画													
		第2期計画			第3期計画										
		山口県スポーツ 推進計画 (平成25年度～令和4年度)			やまぐちスポーツ 推進プラン2022 (令和5年度～令和8年度)										

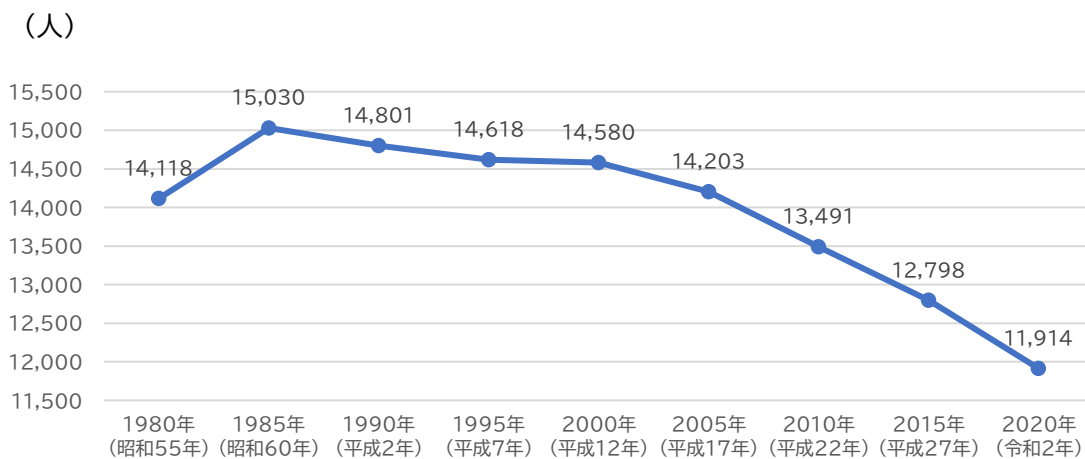
第2章 スポーツを取り巻く現状

1 人口の推移と見通し

本町の人口は、昭和60年以降、減少に転じ、令和2年は11,914人となっています。年齢3区分別の人口構成では、年少人口9.1%、生産年齢人口は47.6%、老年人口43.3%となり、少子高齢化が急激に進んでいます。

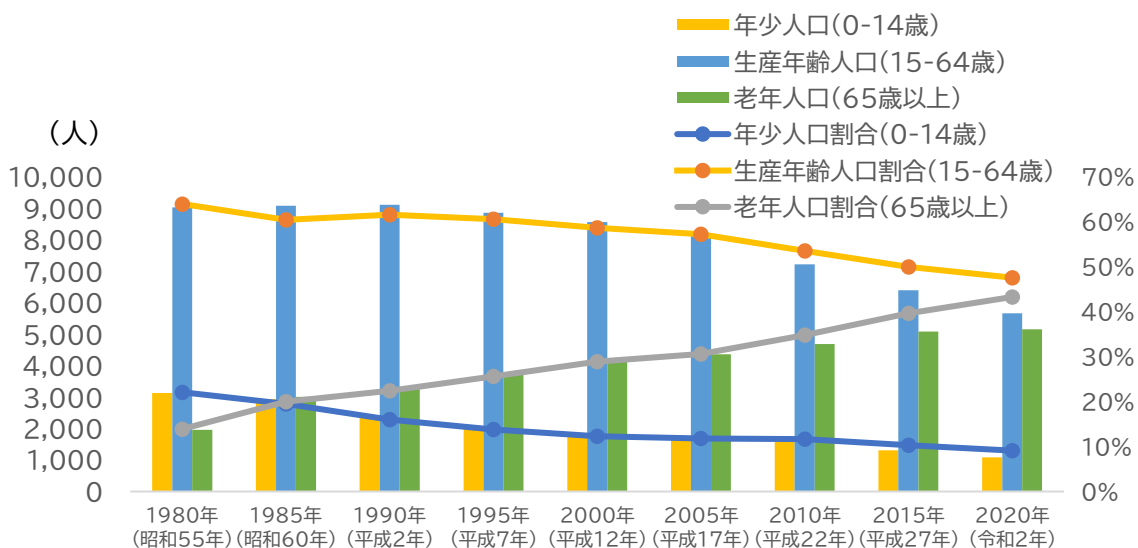
このことから、スポーツ推進においても、人口減少および少子高齢化を踏まえた施策の展開が求められています。

【総人口の推移】



(資料)国勢調査(総務省統計局)

【年齢3区分別の人口推移】



(資料)国勢調査(総務省統計局)

2 本町のスポーツの現状

(1) 町民意識調査の結果（平成 24 年調査との比較）

第 1 期スポーツ推進計画の振り返りと第 2 期スポーツ推進計画策定に向けた基礎資料とするため、令和 7 年 7 月から 9 月に「スポーツに関する町民意識調査」（以下、「町民意識調査」という。）を実施しました。

【調査の概要】

目的 町民のスポーツ活動の実態やスポーツに関する意見、要望等ニーズの把握

期間 令和 7 年 7 月 14 日～令和 7 年 9 月 30 日

調査方法

区分	成人	中高生	小学生
調査対象者	18 歳以上の町民	・ 平生中学校生徒 ・ 高校生年代の町民	平生小学校および 佐賀小学校児童 (4～6 年生)
調査数	1,150 人 (無作為抽出)	・ 中学校生徒 214 人 ・ 高校生年代の町民 50 人 (無作為抽出)	208 人
調査方法	郵送による配付	・ 中学生 学校を通じて配付 ・ 高校生 郵送による配付	学校を通じて配付
回答方法	回答用紙またはインターネット上の回答フォーム	・ 中学生 児童・生徒用タブレット端末 ・ 高校生 回答用紙またはインターネット上の回答フォーム	児童・生徒用タブレット端末
有効回答	384 件	202 件	154 件
回答率	33.4%	76.5%	74.0%

・ 留意事項

- ・ 本調査では、「体を動かして楽しむ活動」すべてを「スポーツ」として実施しました³。
- ・ 表の単位はパーセント(%)で、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しています。
- ・ 表の中で表示している「n=」はパーセントを計算する際のサンプル数（各設問の有効回答総数）です。
- ・ 複数回答が可能な設問については、回答総数が回答者数を上回り、パーセントの合計が 100 を超える場合があります。
- ・ 調査結果の詳細は、参考資料（P23～）に記載しています。

³ スポーツ基本法において、スポーツは、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」であると定義されている。

① 健康状態について（成人のみ）

町民の健康に対する意識は、「健康」である 17.7%（前回：28.9%）、「おおむね健康」である 60.2%（前回：53.6%）となっています。年代別でみると、18 歳～60 歳では 87.6%の人が「健康」「おおむね健康」と回答していますが、60 歳以上では 66.1%にとどまっています。

調査年・対象 内容	平成24年 (n=778)	令和7年		
		成人 (n=382)	18～60歳 (n=210)	60歳以上 (n=174)
健康	28.9	17.7	25.2	8.6
おおむね健康	53.6	60.2	62.4	57.5
あまり健康でない	16.6	21.4	11.9	32.8
わからない	0.9	0.8	0.5	1.1

② 体力について（成人のみ）

町民の自身の体力に対する意識は、「体力には自信がある」が 5.2%（前回：3.3%）、「体力は普通である」が 52.7%（前回：60.3%）となっています。年代別でみると、18 歳～60 歳では 67.6%の人が「自信がある」「普通である」と回答していますが、60 歳以上では 46.3%と、年代が上がるにつれ、体力に不安が出てきています。

調査年・対象 内容	平成24年 (n=778)	令和7年		
		成人 (n=383)	18～60歳 (n=210)	60歳以上 (n=173)
体力には自信がある	3.3	5.2	9.0	0.6
体力は普通である	60.3	52.7	58.6	45.7
体力に不安がある	34.1	40.7	31.0	52.6
わからない	2.3	1.3	1.4	1.2

③ スポーツの実施率について

スポーツの実施率⁴について、成人では、週 1 回以上と回答した人は 34.0%（前回 29.4%）で、前回から 4.6 ポイント上昇しています。一方で、「全くしない」が 48.7%で前回の 28.5%から大幅に増え、「ほとんどしない」と合わせて 6 割近くの人がスポーツを実施していないと回答しています。年代別でみると、18 歳～60 歳では 31.9%、60 歳以上では 36.6%となっています。また、小学生・中高生のスポーツ実施率は、80%を超えています。

⁴ 1 週間に 1 回以上スポーツをする人の割合

調査年・対象 内容	平成24年 成人 (n=778)	令和7年				
		成人 (n=382)	18-60歳 (n=210)	60歳以上 (n=172)	中高生 (n=202)	小学生 (n=153)
週に5回以上	5.7	5.8	5.2	6.4	39.1	33.3
週に3～4回	7.1	10.5	9.0	12.2	22.8	32.0
週に1～2回	16.6	17.8	17.6	18.0	18.8	22.2
月に1～2回程度	6.3	8.9	11.0	6.4	4.5	6.5
ほとんどしない (年に1～5回程度)	35.8	8.4	12.9	2.9	6.4	1.3
全くしなかった	28.5	48.7	44.3	54.1	8.4	4.6

※ スポーツ実施率
小学生:87.5%、中高生:80.7%、成人:34.0%(18-60歳:31.8%、60歳以上:36.6%)

④ スポーツ活動の現状について

(ア) 実施種目

実施種目について、年代ごとに上位10種目をまとめました。小学生では、外遊び、野球、遊具遊び、中高生では、バレーボール、ソフトテニス、野球、成人では、ウォーキング・散歩、軽い体操、トレーニングマシンを使った運動と回答した人が多い結果となりました。

	小学生	中高生	成人
1	外遊び	バレーボール	ウォーキング・散歩
2	野球	ソフトテニス	軽い体操
3	遊具遊び	野球	トレーニングマシンを使った運動
4	ダンス	バドミントン	ゴルフ
5	バスケットボール	バスケットボール	バドミントン
6	バドミントン	卓球	ジョギング・ランニング
7	サッカー	ダンス	登山・ハイキング
8	陸上競技	ジョギング・ランニング	ダンス
9	卓球	サッカー	野球
10	ジョギング・ランニング	テニス	卓球

※ 小学生：29種目のスポーツや運動・外遊びから3つまで選択
中高生および成人：32種目のスポーツから3つまで選択

(イ) スポーツ活動をする団体等の内容

【小学生】

小学生では、スポーツ少年団やクラブチーム、スイミングスクールなどの習いごととして行った人と、友達や仲間同士での活動として行った人が同数でした。

(複数回答)

Q. あなたが行ったスポーツや運動・外遊びはどんな活動ですか。	小学生 (n=154)
スポーツ少年団やクラブチーム、スイミングスクール、ダンススクールなどの習いごと	61.6
友だちや仲間同士での活動（休み時間・放課後・休みの日など）	61.6
学校のクラブでの活動	15.8
その他	4.1

【中高生】

中高生では、43.2%の人が学校の部活動でスポーツを行っており、21.1%の人が学校外のクラブチームでスポーツを行っているという回答しました。

(複数回答)

Q. あなたが行ったスポーツは、主にどのような活動として行いましたか。	中高生 (n=185)
学校の部活動	43.2
友達同士の遊びとして	22.7
学校外のクラブチーム	21.1
民間のフィットネス施設等の会員制のクラブ	1.6
家族や地域の人が入っているサークル	1.1
その他	9.7

【成人】

成人では、17.5%の人がクラブやサークルに入っていると回答し、そのうち、60%の人が、主に町内の人が入っているクラブやサークルに所属しており、29.2%の人が、町外で活動しているクラブやサークルに所属していることが分かりました。

Q. クラブやサークルに入っていますか。	成人 (n=372)
入っている	17.5
入っていない	82.5

(複数回答)

Q. どのようなクラブやサークルに入っていますか。	成人 (n=65)
主に町内の方が加入しているクラブやサークル	60.0
町外で活動しているクラブやサークル	29.2
民間のフィットネス施設等の会員制クラブ	13.8
職場のクラブやサークル	10.8
その他	1.5

(ウ) 目的・理由 (中高生・成人のみ)

スポーツを行った目的・理由については、前回と同じような結果になりました。中高生では、「体力や筋力の向上」「健康の維持・向上」「楽しみ、気晴らし」が上位となりました。成人では、全体の約75%の人が「健康の維持・向上」を目的としてあげ、続いて「運動不足解消」「仲間づくり」と続きました。

(複数回答)

調査年・対象 内容	中高生		成人	
	平成24年 (n=99)	令和7年 (n=185)	平成24年 (n=277)	令和7年 (n=196)
健康の維持・向上のため	48.5	33.0	74.7	74.5
運動不足を解消するため	32.3	40.5	37.5	38.3
友達・仲間づくりのため	14.1	25.9	31.0	27.0
体力や筋力を向上させるため	60.6	42.7	27.1	27.0
美容や肥満解消のため	10.1	12.4	17.7	17.9
楽しみ、気晴らしとして	45.5	40.5	51.3	17.9
自己の記録や能力を向上させるため	16.2	20.0	4.0	4.6
家族の触れ合いとして	1.0	6.5	5.4	4.1
精神 (メンタル) を鍛えるため	7.1	5.9	2.5	3.1
競技での勝ち負けを競うため	17.2	18.4	3.6	2.6
その他	2.0	3.2	2.5	1.0

⑤ みるスポーツについて（中高生・成人のみ）

中高生では、47.5%が「試合会場での観戦」、41.6%が「テレビやインターネット等での観戦」と回答しました。成人では、「試合会場での観戦」が22.4%、「テレビやインターネット等での観戦」や60.9%と回答しました。

内容	対象	中高生 (n=202)	成人 (n=384)
試合会場で観戦した		47.5	22.4
試合会場で観戦したことはないが、テレビやインターネットで観たり、ラジオで聴いたりした		41.6	60.9
試合会場で観戦したこともないし、テレビやインターネットで観たりラジオで聴いたりしたこともない		9.4	12.8

⑥ 支えるスポーツについて（中高生・成人のみ）

中高生、成人ともに「スポーツを支える経験はしていない」という回答が最も多く、中高生では63.4%、成人では73.7%にのぼりました。スポーツを支えた内容としては、中高生では、「スポーツの審判」23.3%、「スポーツ大会・イベント当日の手伝い」11.9%という結果となり、成人では、「スポーツ大会・イベント当日の手伝い」9.9%という結果となりました。

（複数回答）

内容	対象	中高生 (n=202)	成人 (n=384)
スポーツ大会・イベント当日の手伝い		11.9	9.9
クラブチームやサークルのお世話		7.4	4.4
スポーツの審判		23.3	3.6
スポーツ大会・イベントの企画、運営		5.9	3.1
スポーツ活動の指導		4.5	3.1
スポーツを支える経験はしていない		63.4	73.7
その他		2.5	3.6

⑦ 部活動改革について（小学生・中高生のみ）

部活動改革の認知度について、「知っている」という回答は、小学生25.3%、中高生19.8%でした。希望する活動については、小学生、中高生ともに「友だちや仲間と楽しみながら頑張りたい」という回答が最も多くなりました。

内容	対象	小学生 (n=154)	中高生 (n=202)
知っている		25.5	19.8
知らない		74.5	80.2

(複数回答)

内容	対象	小学生 (n=154)	中高生 (n=202)
友だちや仲間と楽しみながら頑張りたい		55.2	62.4
少し体を動かすのでよい		27.9	38.6
いろいろな種目を試してみても自分に合うものを見つけたい		38.3	31.2
いろいろな種目を少しずつ楽しみたい		28.6	31.2
1つの種目を続けたい		19.5	19.3
一流の選手をめざしたい		22.7	10.9
コーチやボランティアとしても関わりたい		7.8	5.4
その他		1.9	2.0

⑧ スポーツ施設に望むこと（成人のみ）

スポーツ施設に望むことについて、「トイレや更衣室等の快適さ」や「競技場の快適さ」といったハード面に加え、「健康やスポーツに関する情報」「スポーツ教室や行事」「利用案内などの広報」などソフト面の充実を望む声が多くあがりました。

(複数回答)

内容	対象	成人 (n=384)
トイレや更衣室等の快適さ（設備の改築・修繕）		30.7
競技場の快適さ（競技施設の改築・修繕）		28.1
健康やスポーツに関する情報の充実		26.6
初心者向けのスポーツ教室や行事の充実		25.8
利用案内などの広報の充実		20.3
利用手続、料金支払方法などの簡略化・デジタル化		15.4
サークル育成の支援		7.0
競技スポーツの推進の取組		3.1
その他		2.3
わからない		25.5

⑨ 町スポーツが盛んになることの効果（成人のみ）

スポーツ活動の効果としては、前回同様「健康増進」「地域のコミュニティの形成・活性化」「高齢者の生きがいがづくり」「親子や家族の交流」など健康づくりや地域・家族との交流をあげる回答が上位となりました。

（複数回答）

内容	調査年	平成24年 (n=778)	令和7年 (n=384)
町民の健康増進に役立つ		45.1	34.9
地域のコミュニティが形成・活性化される		37.4	34.6
高齢者の生きがいがづくりに役立つ		32.4	29.7
親子や家族の交流が深まる		23.7	24.5
子どもの体力づくりに役立つ		17.7	20.8
余暇時間が有効に利用できるようになる		23.4	20.1
スポーツ施設や公共施設の有効利用		15.2	17.4
世代間交流が促進される		18.0	16.7
青少年の健全育成に役立つ		15.0	16.1
町民の一体感につながる		11.2	5.2
効果はない		0.8	2.3
町民の競技力が向上する		4.8	2.1
その他		0.1	0.8
わからない		6.8	9.6



様々な世代の人が仲間とふれあいながら町内を歩く「ひらおウォーキング大会」

(2) 第1期計画の取組状況と課題

本町では、第1期スポーツ推進計画において、「生涯スポーツの推進」「スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援」「スポーツによる地域の活性化」の3つの基本方針のもとに施策を展開しました。

ここでは、方針ごとにこれまでの取組状況と課題を整理していきます。

基本方針1 生涯スポーツの推進

施策1 子どものスポーツ活動の推進

- ① 子どもの体力の向上を目的として、放課後子ども教室などを通じてスポーツや外遊びの楽しさを実感し、運動習慣につながる活動を実施しました。
- ② 子どもがスポーツに親しむ機会の一つであるスポーツ少年団活動の活性化を図りました。しかしながら、少子化の影響から団の統廃合が進み、単位団数は、第1期計画策定時（平成25年）の9団から令和7年には6団に減少しており、平成25年度当初220名だった団員は、令和7年度当初では125人と約100人減少しています。とはいえものの、令和7年度の小学生加入率32.42%は、県平均（20.79%）を上回っている状況です。

【スポーツ少年団の状況（年度当初比較）】

単位団名	団員数（人）	
	平成25年	令和7年
平生軟式野球スポーツ少年団	11	19
平生ミニバスケットボールスポーツ少年団	28	29
平生陸上スポーツ少年団	27	28
平生空手スポーツ少年団	38	21
平生剣道スポーツ少年団	21	13
平生サッカースポーツ少年団	50	15
平生合気道スポーツ少年団	12	
佐賀サッカースポーツ少年団	13	
大星軟式野球スポーツ少年団	20	
計	220	125



スポーツ少年団員が一堂に会し、活動のさらなる発展を誓う「平生町スポーツ少年団大会」

- ③ 学校運動部活動を子どもたちが将来にわたってスポーツに親しむ基礎となる活動であると捉え、中学校部活動に、専門的な知識や技能を有する地域指導者を部活動指導員⁵として配置しました。また、令和3年度には「平生町地域部活動検討委員会」を立ち上げ、部活動改革⁶について協議を続けています。

部活動指導員 配置数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	5人	8人	12人	12人	9人	11人	10人

施策2 成人のスポーツ活動の推進

- ① 町スポーツ協会（令和5年度に町体育協会から改称）と連携し、幼児から高齢者までだれもが参加できるスポーツイベントや大会を開催しました。令和2年度から3年度にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされましたが、その後は、感染予防を徹底して大会を開催しています。しかしながら、参加者および参加チームの減少が続いています。

【各種大会の参加状況】（－は雨天中止）

大会名	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ウォーキング大会	－	130	125	98	140	－			19	80	80	80
ファミリースポーツレクリエーション大会	700	500	400	－	470	453			400	350	350	320
駅伝競走大会	－	35	43	43	43	38			－	28	26	25

※ウォーキング大会、ファミリースポーツレクリエーション大会は参加者数、駅伝競走大会は参加チーム数

- ② 各種団体の育成について、町社会体育施設を定期的にご利用する社会体育団体数は、コロナ禍以降減少傾向にあります。

【社会体育登録団体数の状況】

社会体育登録団体	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	47	46	49	47	45	42	41	37	32	36	35	34

- ③ 県や県スポーツ協会と情報共有し、総合型地域スポーツクラブ⁷を支援しました。

⁵ 校長の監督下で顧問の代わりに単独で部活動の技術的な指導や大会への引率等のできる人。平成29年度から制度化された。

⁶ 少子化の中でも将来にわたって生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保を目指し、生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境を整備するもの。

⁷ 身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

施策3 高齢者のスポーツ活動の推進

- ① 高齢者のスポーツ活動の機会として、ファミリースポーツ・レクリエーション大会では高齢者対象の種目を設けたほか、駅伝競走大会では、令和4年度に「シニアの部」を新設しました。
- ② 平生町老人クラブ連合会の開催する「レク・スポ大会」の活動を支援しました。

施策4 障がい者のスポーツ活動の推進

- ① 本町では、「おいでませ！山口国体・山口大会」（平成23年）において、電動車椅子サッカーが開催されたことから、障がい者スポーツへの関心が高まっており、町内企業と連携し車いすアメリカンフットボールの交流大会等を開催しました。
- ② 町民福祉課と連携し、キラリンピックへの参加を支援しました。

施策5 健康及び体力の保持増進

- ① ウォーキング大会やファミリースポーツ・レクリエーション大会など、幼児から高齢者までだれもが参加できるスポーツ大会やイベントを開催しました。（施策2再掲）

今後の課題

- ・ 少子化に伴うスポーツ少年団や学校運動部活動の種目・団体数の減少により、スポーツに親しむ子どもとそうでない子どもの二極化が進行
- ・ 社会体育施設を利用するスポーツ団体の減少等でスポーツ参加機会が乏しくなり、運動不足を自覚する人が増大

基本方針2 スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援

施策1 スポーツ指導者の育成と活動支援

- ① スポーツ推進委員⁸の資質向上を目的として、県主催の研修会等に派遣しました。
- ② 指導者の育成に向け、特にスポーツ少年団指導者に対し、県主催のスタートコーチ養成講習会への積極的な参加を促しました。また、ACP⁹（アクティブチャイルドプログラム）の普及に向け、研修会を開催しました。

施策2 スポーツボランティアの育成と活動支援

- ① ファミリースポーツ・レクリエーション大会の運営スタッフ、駅伝競走大会の中継所役員として、スポーツボランティアを募集し、合わせて50人程度のボランティアスタッフが大会を支えました。

⁸スポーツ基本法に定められた非常勤公務員で、スポーツの実技指導やスポーツに関する指導助言、スポーツ推進事業の実施と実施に係る連絡調整など、町のスポーツ推進体制の整備を行う。

⁹アクティブチャイルドプログラム：日本スポーツ協会が開発した、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラム。

今後の課題

- ・ 多様なスポーツニーズに十分応えられる指導人材の確保・育成
- ・ 支えるスポーツに携わる機運の醸成およびスポーツイベント等を支える人材の確保

基本方針3 スポーツによる地域の活性化

施策1 スポーツによるまちづくり

- ① 我がまちスポーツであるサッカー¹⁰による地域活性化をねらいとし、サッカー教室を開催したほか、スポーツ協会サッカー部が主催するサッカーフェスティバルの運営協力をしました。
- ② 豊かな自然を生かした「大星山サイクルフェスタ（観光協会主催、町産業課共催）」の開催等により、サイクルスポーツによる交流人口の拡大につながりました。

施策2 スポーツ施設の整備と充実

- ① 社会体育施設の長寿命化および適切な維持管理に向け、施設の整備に取り組ましました。

【主な取組】

令和元年度	武道館屋根改修工事
令和3年度	体育館受変電設備改修工事
令和6年度	体育館・武道館照明改修（LED化）工事
令和7年度	体育館屋根改修工事

今後の課題

- ・ 交流人口の拡大やまちづくりへの影響を見据えたスポーツ施策の展開
- ・ 町民が快適に利用できるスポーツ施設の適切な維持管理



レノファ山口の選手をお迎えした「我がまちスポーツサッカー教室」（令和5年度）

¹⁰ 本町では、かつて実業団サッカーチームが活躍していたことや「おいでませ！山口国体・山口大会（平成23年）」において電動車椅子サッカーが実施されたことにより、サッカーを「我がまちスポーツ」に定めている。

第3章 計画の基本理念と基本方針

1 基本理念

「スポーツで 人とまちをつなぐ 元気な平生」

町民のだれもが、いつでも・どこでも・いつまでも、それぞれの体力・技術・目的に応じてスポーツを楽しみ、暮らしの中で気軽にスポーツに親しめる「スポーツで 人とまちをつなぐ 元気な平生」の実現を目指します。

※第五次平生町総合計画 p52～53 基本目標2・施策14より

2 基本目標

成人の週1日以上スポーツ実施率を60%とすることを目指します。

※ 町民意識調査においては、実施率は34.0%です。国の第3期スポーツ基本計画では目標値70%となっていますが、本町では実態に即し、まずは60%を目指すこととします。

【参考】第1期スポーツ推進計画策定時のスポーツ実施率29.4%（平成24年町民意識調査）

3 基本方針

本計画では、基本理念の実現に向けて、3つの基本方針に基づきスポーツ推進施策を展開していきます。

I 生涯スポーツの推進

町民が、ライフステージを通じて、それぞれの体力や関心・適性、目的等に応じて、スポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。

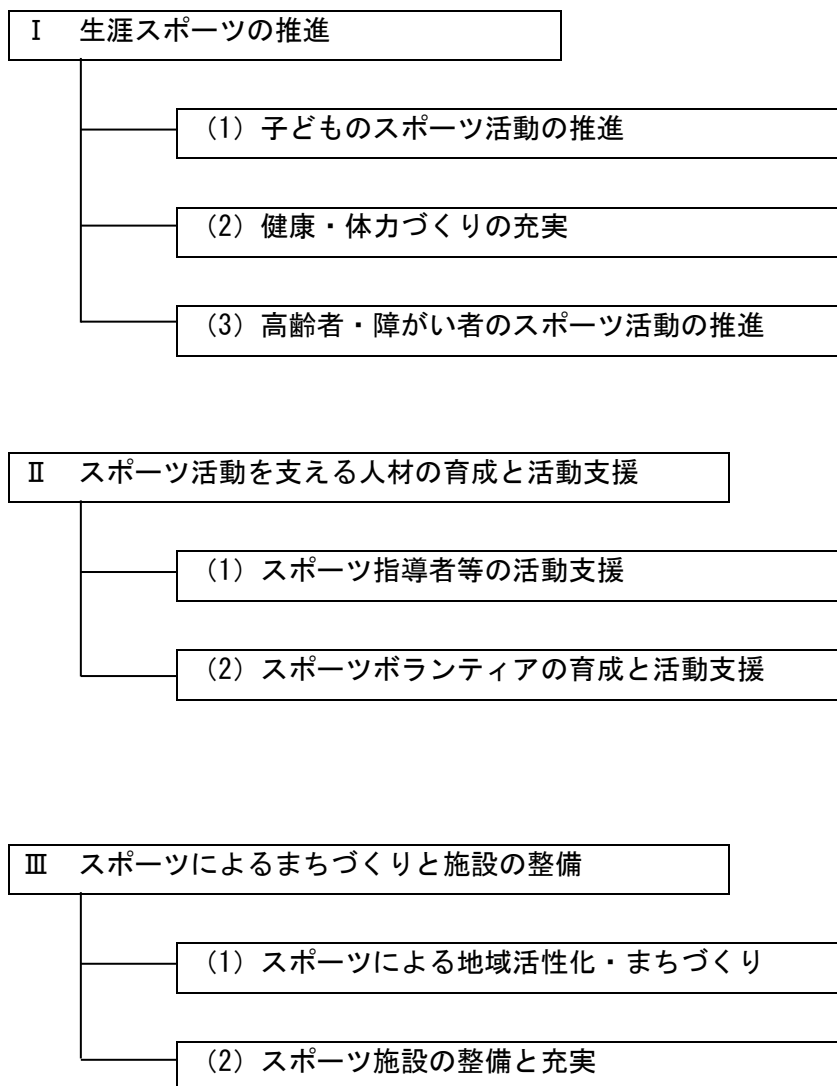
II スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援

町民が、楽しく安全に、また効果的にスポーツ活動を実施できるよう、指導者やボランティアといったスポーツを支える人材の育成を図ります。

III スポーツによるまちづくりと施設の整備

我がまちスポーツであるサッカーをはじめ、多様なスポーツ活動・イベントを通じて交流と賑わいを創出するとともに、スポーツ施設の適切な整備および効率的な運営を進め、地域活性化と利便性の向上を図ります。

4 施策体系



ファミリースポーツ・レクリエーション大会「かけっこ～目指せ！未来のオリンピックランナー」から

第4章 施策とその推進に向けた取組

基本方針Ⅰ 生涯スポーツの推進

(1) 子どものスポーツ活動の推進

- ・ **子どものころからスポーツ・運動に親しむ機会の提供**
具体的な施策
 - ・ スポーツ少年団活動の支援
 - ・ 放課後子ども教室等子どものスポーツ活動事業との連携
- ・ **学校だけでなく地域でもスポーツ活動ができる環境の整備充実**
具体的な施策
 - ・ 部活動改革の推進（※学校教育課と連携）
 - ・ 中学生が活動できる団体・サークルに関する情報提供

(2) 健康・体力づくりの充実

- ・ **町民が気軽にスポーツ・運動に親しむ機会の提供**
具体的な施策
 - ・ 各種スポーツイベント・大会の開催（※町スポーツ協会と連携）
 - ・ 体育館開放日の継続実施
 - ・ ニュースポーツの紹介
- ・ **町民のスポーツ・運動習慣定着に向けた支援**
具体的な施策
 - ・ 町スポーツ協会活動の支援
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの支援
 - ・ 社会体育登録団体の支援

(3) 高齢者・障がい者のスポーツ活動の推進

- ・ **高齢者のスポーツ活動の推進**
具体的な施策
 - ・ 高齢者が参加しやすい各種スポーツイベント・大会の開催および開催支援
 - ・ 老人クラブ連合会等のスポーツ事業に対する支援
- ・ **障がい者のスポーツ活動の推進**
具体的な施策
 - ・ 障がい者が参加しやすい各種スポーツイベント・大会開催および開催支援
 - ・ 障がい者団体やサークルのスポーツ事業に対する支援

基本方針Ⅱ スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援

(1) スポーツ指導者等の活動支援

- ・ **町民のさまざまなニーズに対応できるスポーツ指導者の養成**
具体的な施策
 - ・ スポーツ少年団指導者資格取得の促進
 - ・ (公財)日本スポーツ協会指導者資格に関する情報提供
 - ・ ACP、アシスタントマネージャー等、種目指導にとどまらない資格に関する情報提供
- ・ **次世代のスポーツ団体を担うスポーツ指導人材の育成**
具体的な施策
 - ・ スポーツ推進委員の資質向上
 - ・ スポーツ協会およびスポーツ少年団の役員・指導者育成および資質向上

(2) スポーツボランティアの育成と活動支援

- ・ **スポーツを支える喜びを味わう機会の提供**
具体的な施策
 - ・ スポーツボランティアとして各種スポーツイベント・大会への参加促進
 - ・ スポーツボランティアの認知度向上および継続的参加に資する人材育成

基本方針Ⅲ スポーツによるまちづくりと施設の整備

(1) スポーツによる地域活性化・まちづくり

- ・ **我がまちスポーツ「サッカー」を中心に据えた地域活性化**
具体的な施策
 - ・ 我がまちスポーツ「サッカー」に関する事業の展開
 - ・ 町ゆかりのスポーツ選手等による講習会・研修会の開催
- ・ **豊かな自然を生かしたスポーツイベントを通じた賑わいの創出**
具体的な施策
 - ・ サイクルスポーツイベントやアウトドアスポーツイベントへの支援

(2) スポーツ施設の整備と充実

- ・ **スポーツ施設の整備**
具体的な施策
 - ・ 施設の長寿命化および効果的・効率的な活用
- ・ **スポーツ施設の効果的な運営**
具体的な施策
 - ・ デジタル技術を活用した施設運営
 - ・ 学校体育施設の効果的な運用

【町内の社会体育施設】

屋内施設

施設名称	所在地	床面積(m ²)	設置内容
平生町体育館	大字平生村 241 番地の 2	1,437.28	バスケットボール(2面) バレーボール(3面) バドミントン(5面)
平生町武道館	大字平生村 241 番地の 2	769.71	柔道、剣道

屋外施設

施設名称	所在地	面積(m ²)	設置内容
平生町スポーツセンター(グラウンド)	大字平生町 194 番地の 4	10,000	軟式野球、ソフトボール、陸上
平生町スポーツセンター(テニスコート)	大字平生町 194 番地の 4	1,600	テニス(2面)
ハートランドひらお運動広場	大字佐賀 1553 番地	10,000	軟式野球、ソフトボール、陸上
ハートランドひらおスポーツレクリエーション公園	大字佐賀 3142 番地	6,000	ジョギング園路、遊具など

※屋外施設面積は駐車場、法面等は含まない。

【町内の学校体育施設】

学校名	施設	床面積(m ²)
平生小学校	屋外運動場	11,992
	屋内運動場	961

学校名	施設	床面積(m ²)
佐賀小学校	屋外運動場	7,998
	屋内運動場	840

学校名	施設	床面積(m ²)
平生中学校	屋外運動場	20,883
	屋内運動場	1,089
	柔剣道場	235

社会体育施設



平生町体育館

競技場 ⇒



平生町武道館

武道場 ⇒



平生町スポーツセンター

テニスコート ⇒



第5章 計画の推進体制

1 庁内関係課における連携・協力

本計画に掲げた施策の多くは、教育のみならず、福祉、まちづくりなど幅広い分野に関わることから、教育委員会、健康保険課、町民福祉課、地域振興課、産業課、デジタル推進課などの関係課との密接な連携・協力を図り、具体的方策を推進していきます。

2 スポーツ関係機関との連携

町内には、スポーツ協会をはじめ、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ、社会体育登録団体など、多くのスポーツ関係団体があり、それぞれの目的に沿って自主的な活動を行っています。

町は、こうした関係団体の自主性を重視しつつ、スポーツ関係団体が持つスポーツの普及や競技水準の向上に果たす役割を踏まえ、スポーツ推進における相談役であり実務者でもあるスポーツ推進委員と連携しながら、協力体制の強化を図ります。

また、青少年健全育成の観点から、スポーツ少年団への活動支援については引き続き行うとともに、部活動改革に伴い、地域で子どものスポーツ活動を支える団体等への支援も進めていきます。

3 国や県との連携

国や県との情報共有、連携を引き続き図りながら、町民が様々なスポーツ活動を行いやすい環境づくりを目指します。

参考資料

・スポーツに関する町民意識調査アンケート結果

【調査の概要】

目的 町民のスポーツ活動の実態やスポーツに関する意見、要望等ニーズの把握

期間 令和7年7月14日～令和7年9月30日

調査方法

区分	成人	中高生	小学生
調査対象者	18歳以上の町民	<ul style="list-style-type: none"> ・平生中学校生徒 ・高校生年代の町民 	平生小学校および佐賀小学校児童(4～6年生)
調査数	1,150人 (無作為抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生徒 214人 ・高校生年代の町民 50人 (無作為抽出) 	208人
調査方法	郵送による配付	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生 学校を通じて配付 ・高校生 郵送による配付 	学校を通じて配付
回答方法	回答用紙またはインターネット上の回答フォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生 児童・生徒用タブレット端末 ・高校生 回答用紙またはインターネット上の回答フォーム 	児童・生徒用タブレット端末
有効回答	384件	202件	154件
回答率	33.4%	76.5%	74.0%

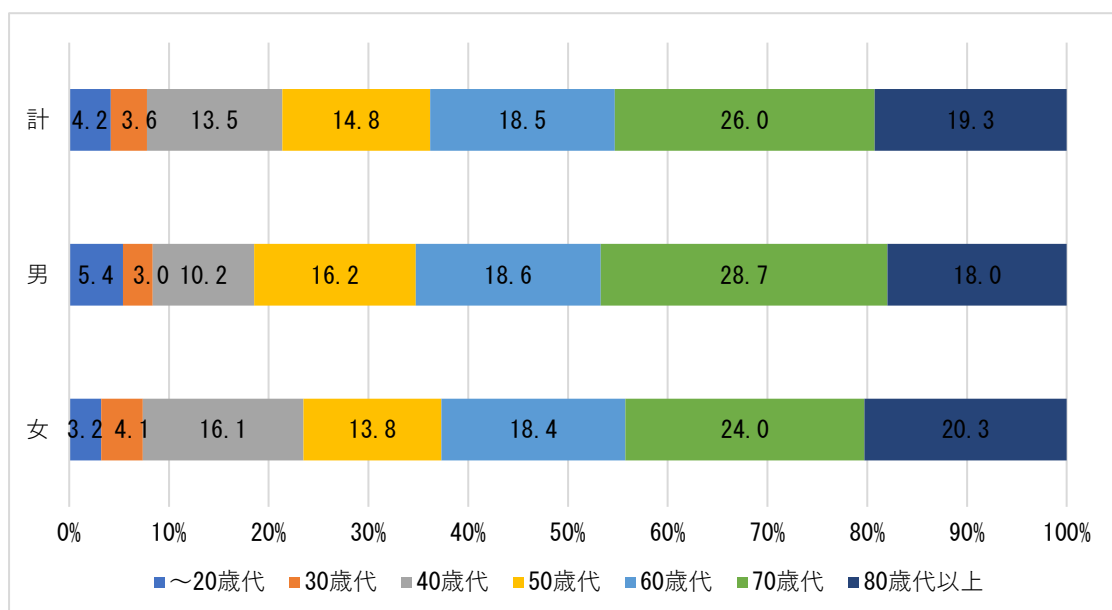
成人

【F1】 あなたの年齢を教えてください。

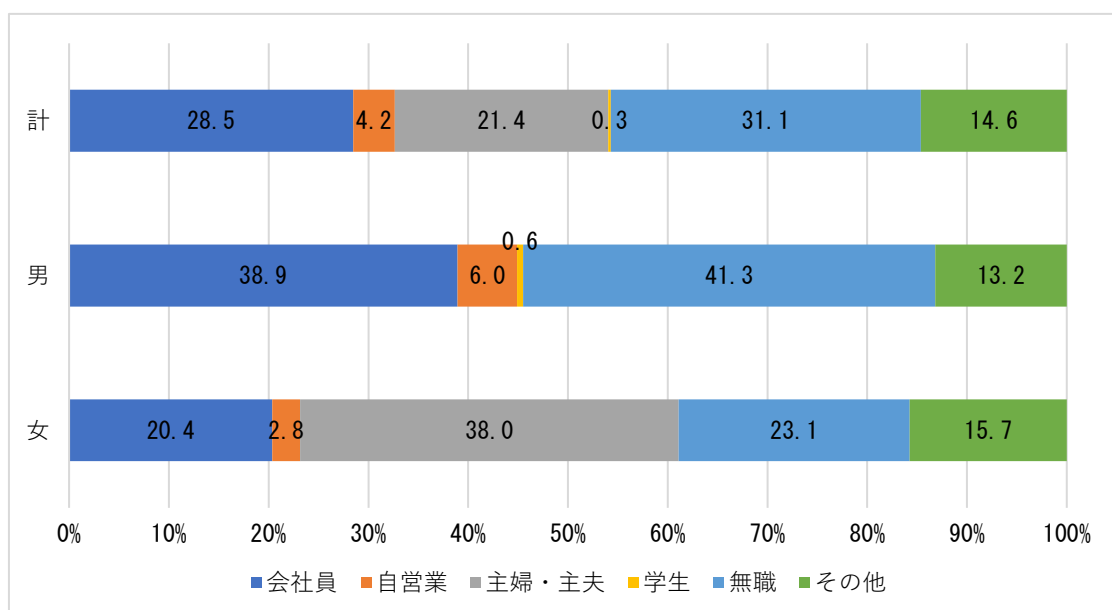
【F2】 あなたの性別を教えてください。

(人)

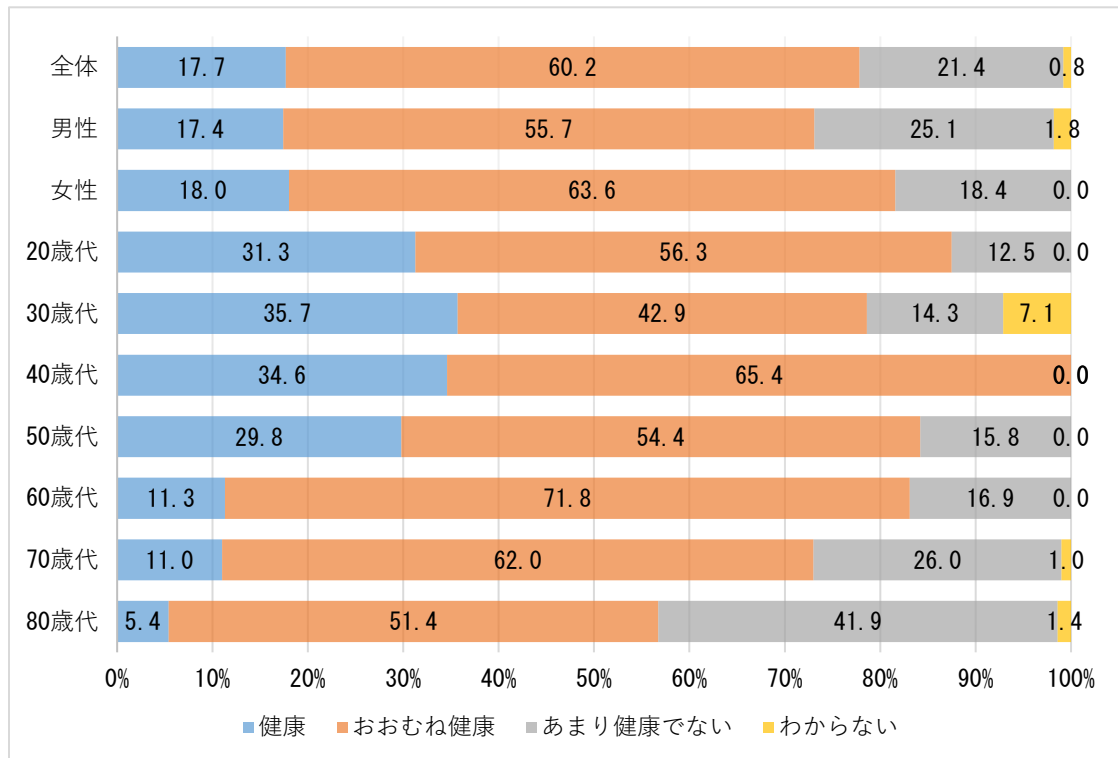
	～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	計
男	9	5	17	27	31	48	30	167
女	7	9	35	30	40	52	44	217
計	16	14	52	57	71	100	74	384



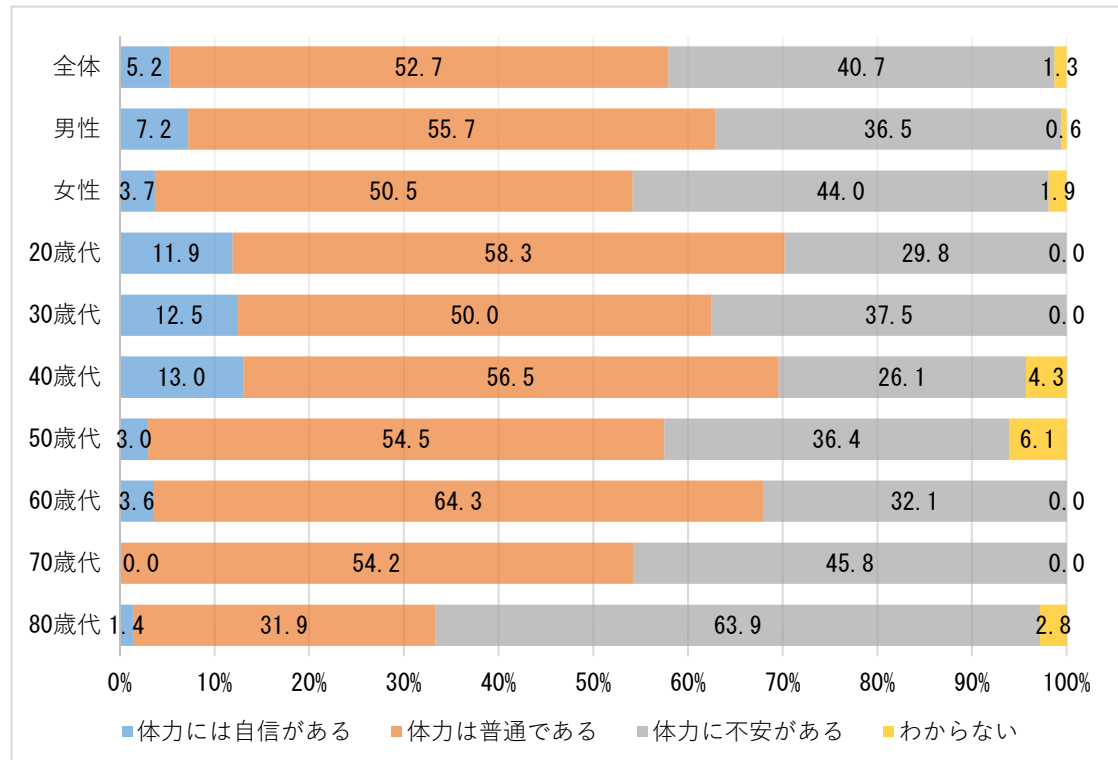
【F3】 あなたの職業を教えてください。



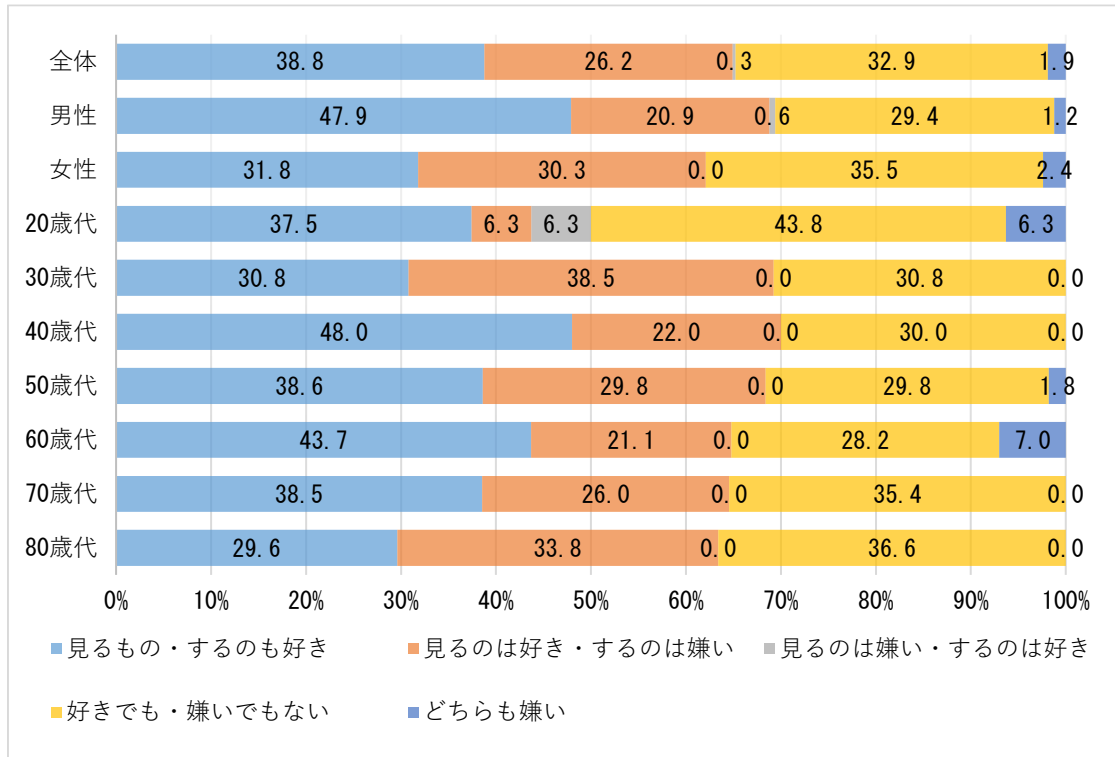
【問1】あなたは、現在健康だと思いますか。



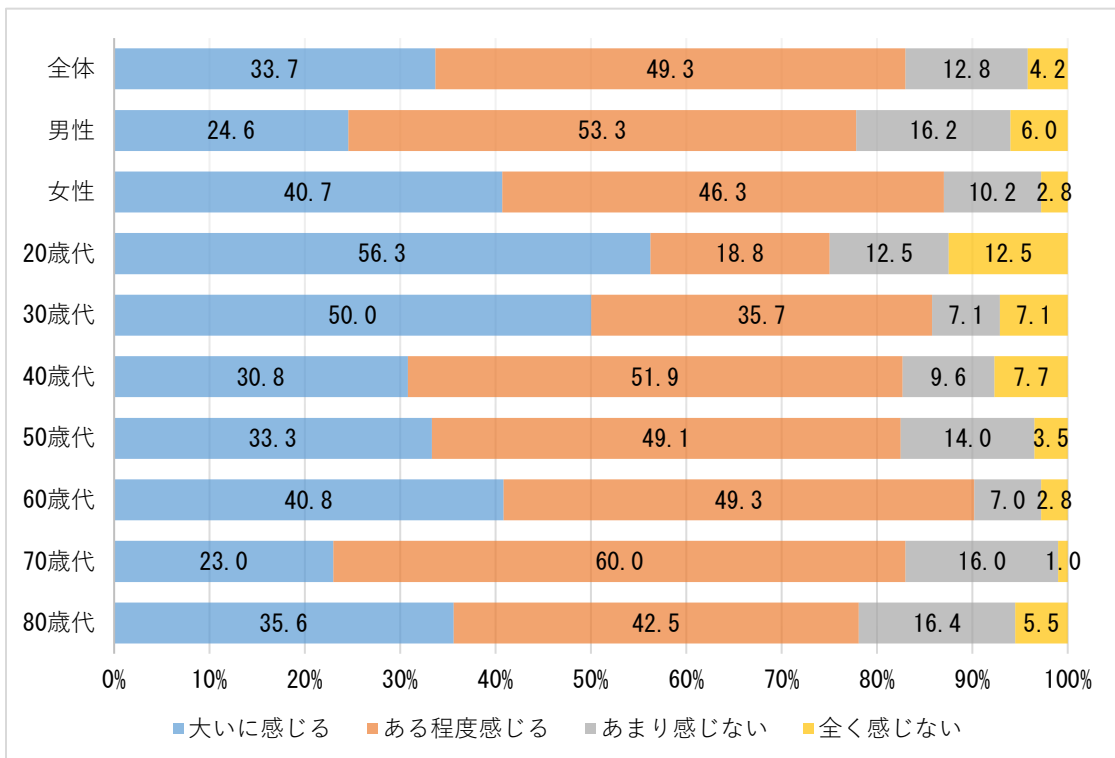
【問2】あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。



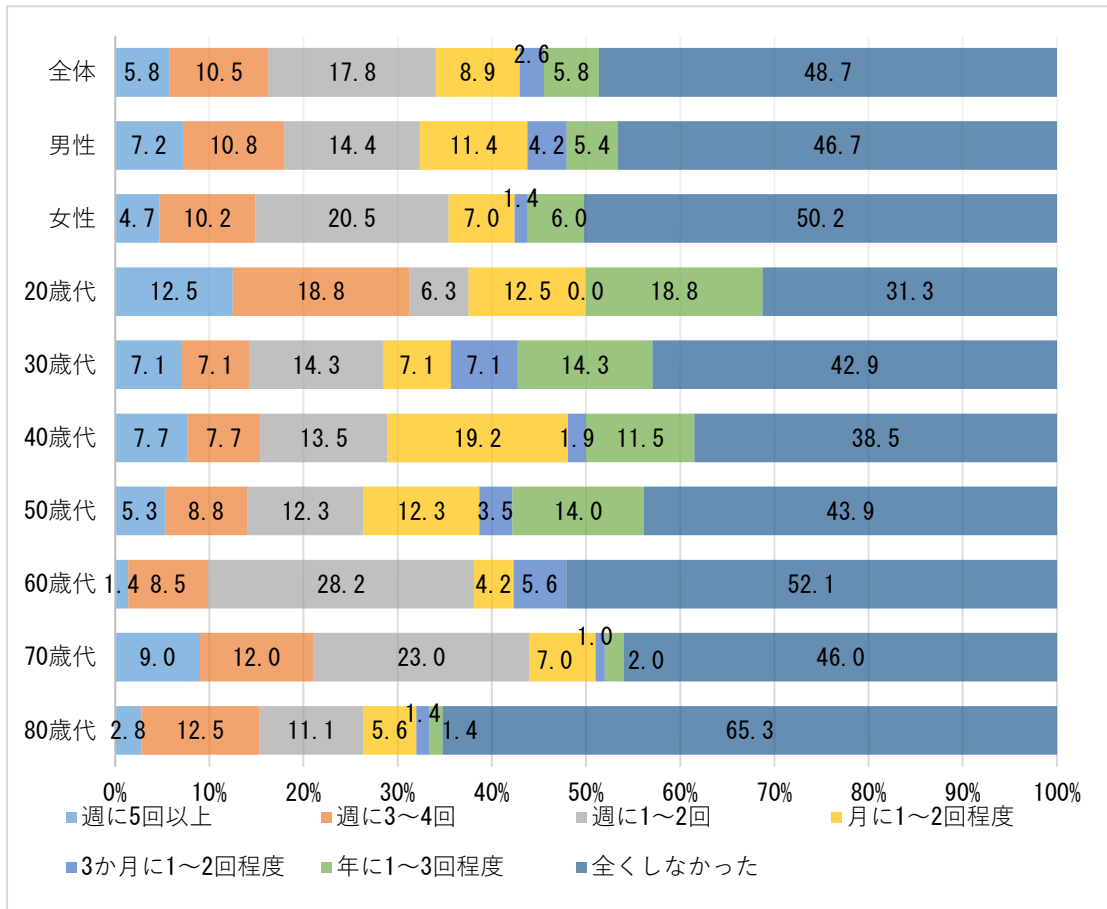
【問3】あなたは、スポーツが好きですか。



【問4】あなたは普段、運動不足だと感じていますか。



【問5】あなたは、過去1年間に、どのくらいの頻度でスポーツをしましたか。



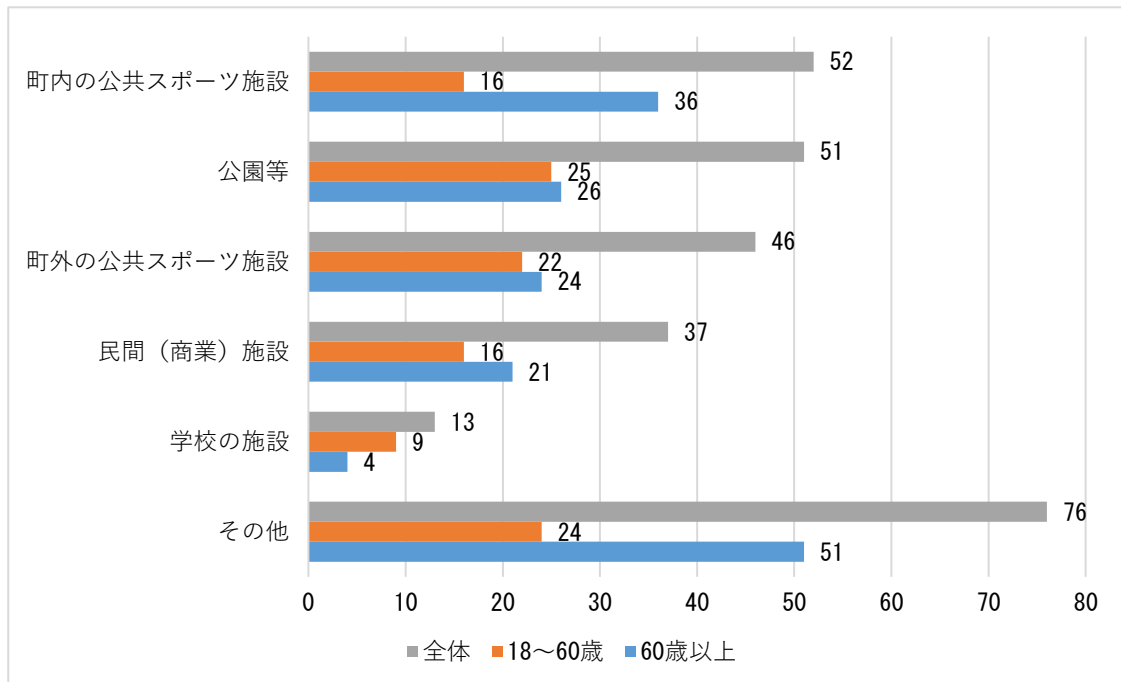
○ 問5で「スポーツをした」と答えられた方にお聞きします。

【問6】あなたが実施したスポーツ種目は何ですか。よく実施した種目を3つまで選んでください。

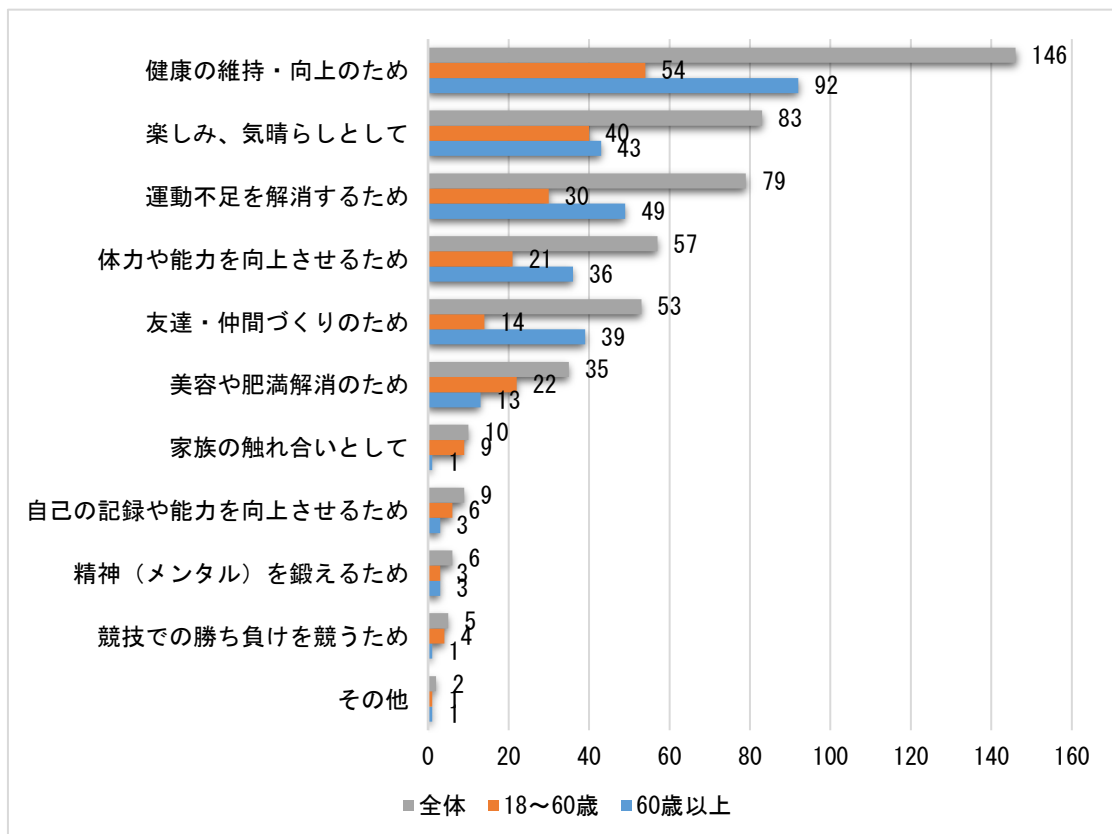
(人)

	男	女	計
ウォーキング・散歩	39	64	103
軽い体操（ラジオ体操、美容目的の体操など）	13	57	70
トレーニングマシンを使った運動	10	14	24
ゴルフ（打ちっ放し、ショートコース含む）	18	3	21
パドミントン	9	9	18
ジョギング・ランニング	9	9	18
登山・ハイキング	9	6	15
ダンス（ダンスフィットネス、フラダンス、社交ダンス含む）	2	10	12
野球	11	0	11
卓球	3	7	10
サッカー	8	0	8
バレーボール	4	3	7
ソフトテニス	3	4	7
サイクリング	5	2	7
ソフトバレーボール	1	5	6
バスケットボール	3	3	6
軽い球技（キャッチボール、円陣パスなど）	6	0	6
ボウリング	4	1	5
水中ウォーキング	2	2	4
水泳競技	0	3	3
ゲートボール・グラウンドゴルフ	1	2	3
陸上競技	3	0	3
柔道	2	0	2
空手	2	0	2
ソフトボール	1	0	1
テニス	0	1	1
剣道	1	0	1
レスリング	1	0	1
弓道	1	0	1
キャンプ	1	0	1
ハンドボール	0	0	0
スキー・スノーボード	0	0	0
その他	8	9	17

【問 7】 スポーツは主にどこで行いましたか。よく利用した施設を 3 つまで選んでください。
 (複数回答・人)



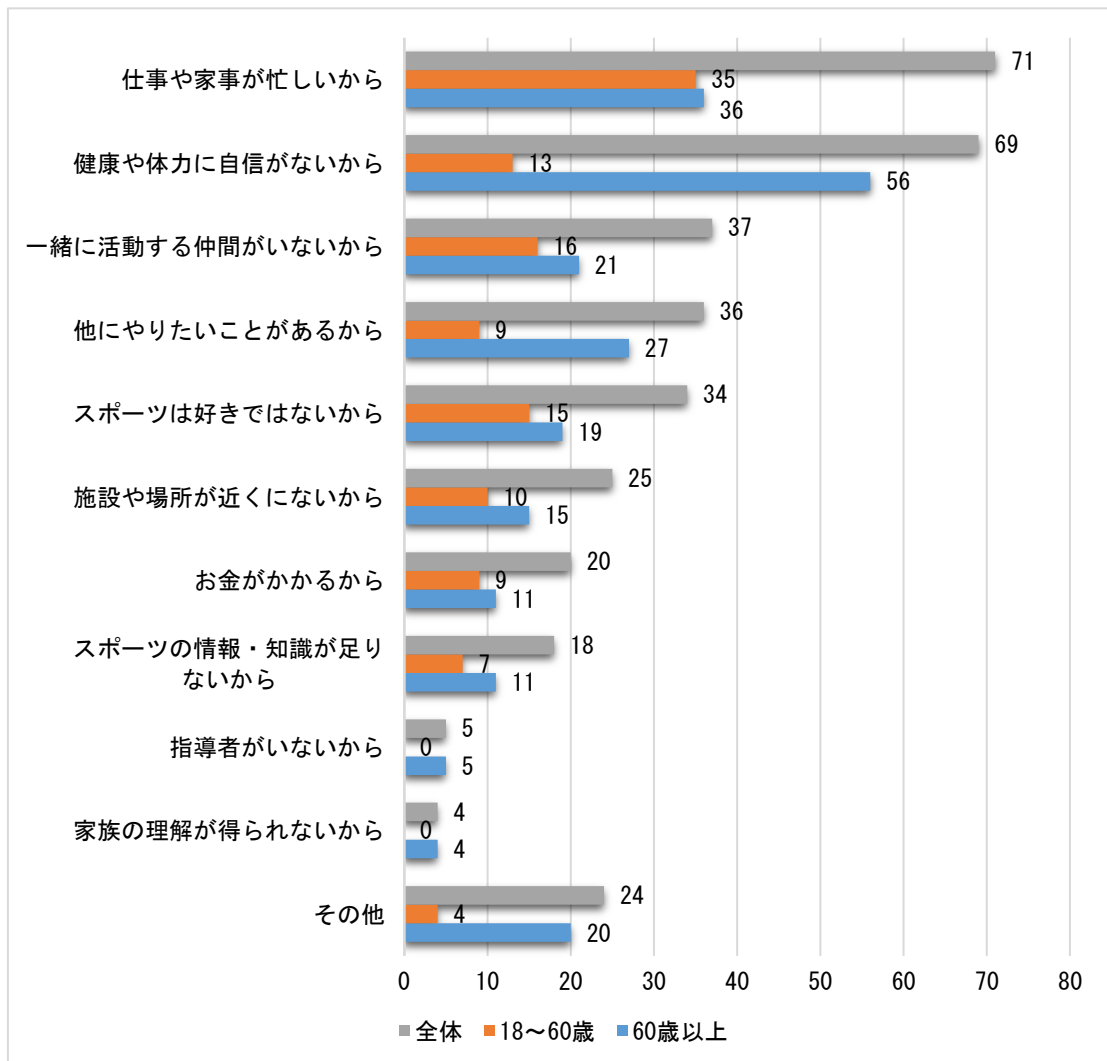
【問 8】 あなたがスポーツする目的は次のうちどれですか。特に当てはまるものを 3 つまで選んでください。(複数回答・人)



○ 問5で「スポーツを全くしなかった」と答えられた方にお聞きします。

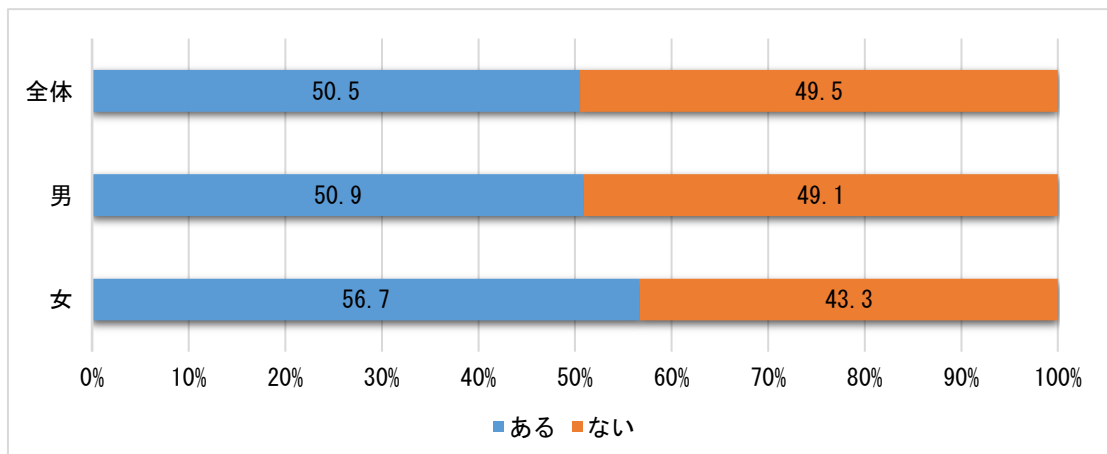
【問9】その理由は何ですか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。

(複数回答・人)



○ ここからは、全員にお聞きします。

【問10】あなたがこれからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツはありますか。

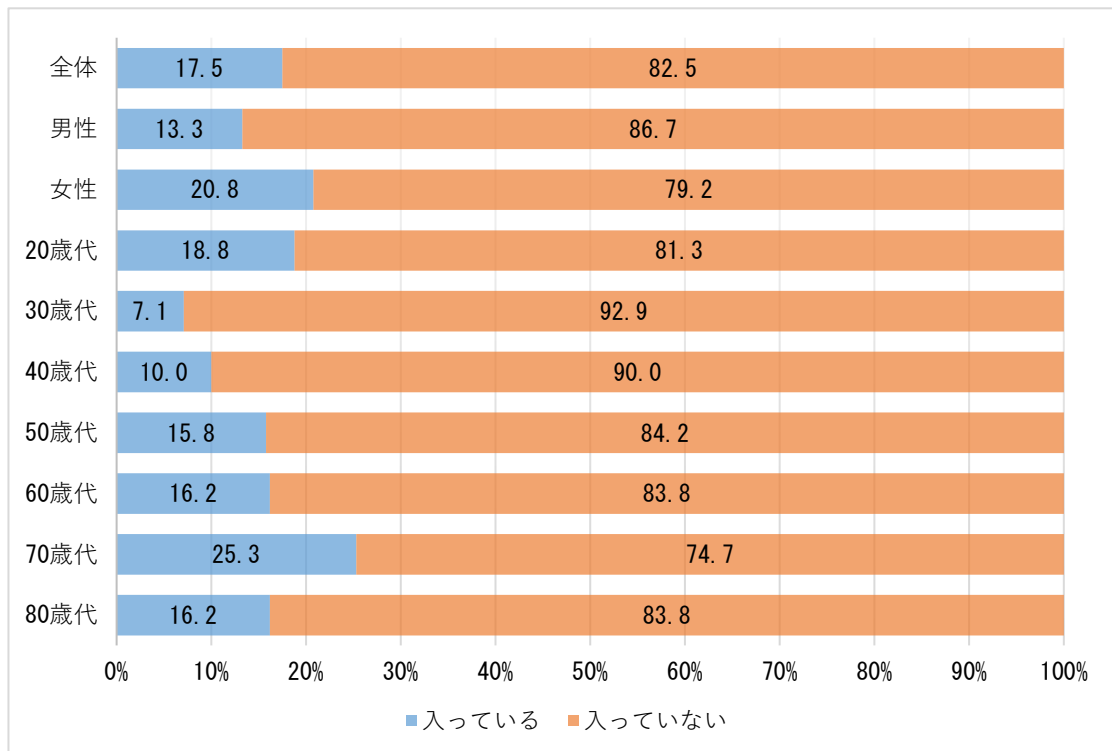


【問10-2】問10で「1. ある」と答えられた方にお聞きします。そのスポーツ種目は何ですか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。(複数回答)

(人)

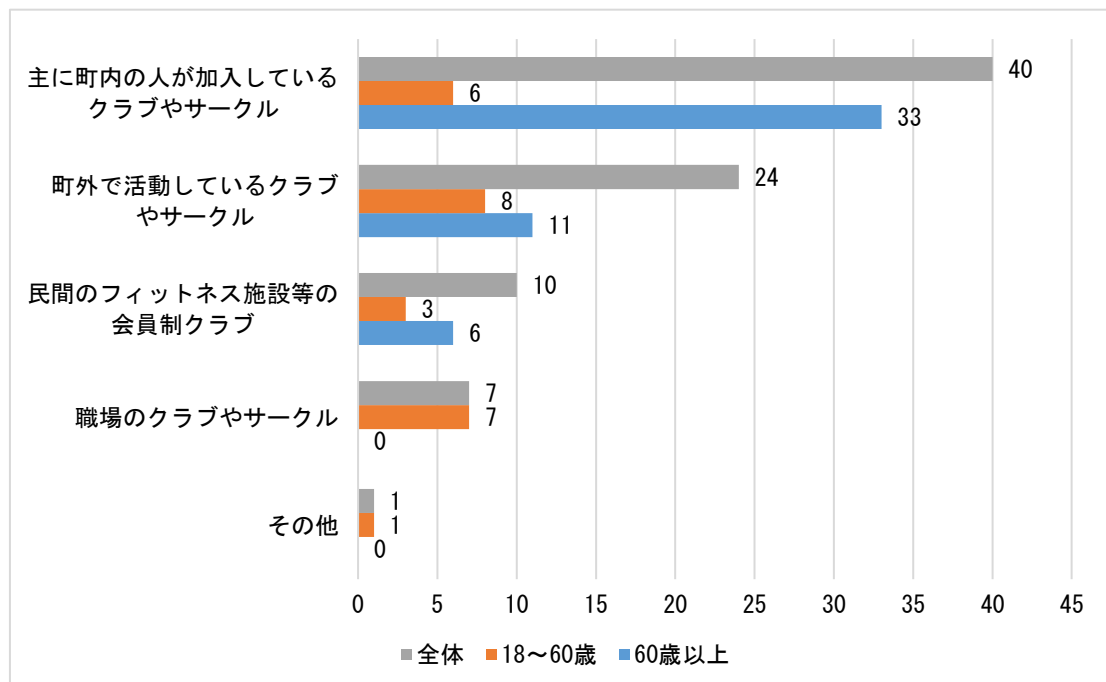
	男	女	計
ウォーキング・散歩	33	48	81
軽い体操（ラジオ体操、美容目的の体操など）	15	49	64
トレーニングマシンを使った運動	9	17	26
登山・ハイキング	11	15	26
ジョギング・ランニング	13	8	21
バドミントン	5	12	17
ゴルフ（打ちっ放し、ショートコース含む）	14	3	17
ダンス（ダンスフィットネス、フラダンス、社交ダンス含む）	0	16	16
卓球	5	11	16
水中ウォーキング	3	12	15
ソフトテニス	5	6	11
野球	8	1	9
サイクリング	7	2	9
水泳競技	2	6	8
ボウリング	5	3	8
バレーボール	5	1	6
ソフトバレーボール	1	4	5
バスケットボール	5	0	5
テニス	0	5	5
ゲートボール・グラウンドゴルフ	0	5	5
キャンプ	2	3	5
ソフトボール	3	1	4
空手	3	1	4
軽い球技（キャッチボール、円陣パスなど）	4	0	4
サッカー	3	0	3
スキー・スノーボード	3	0	3
弓道	2	1	3
陸上競技	2	0	2
柔道	1	0	1
剣道	1	0	1
ハンドボール	0	0	0
レスリング	0	0	0
その他	3	13	16

【問 11】 あなたは、現在、スポーツ活動のクラブやサークルに入っていますか。

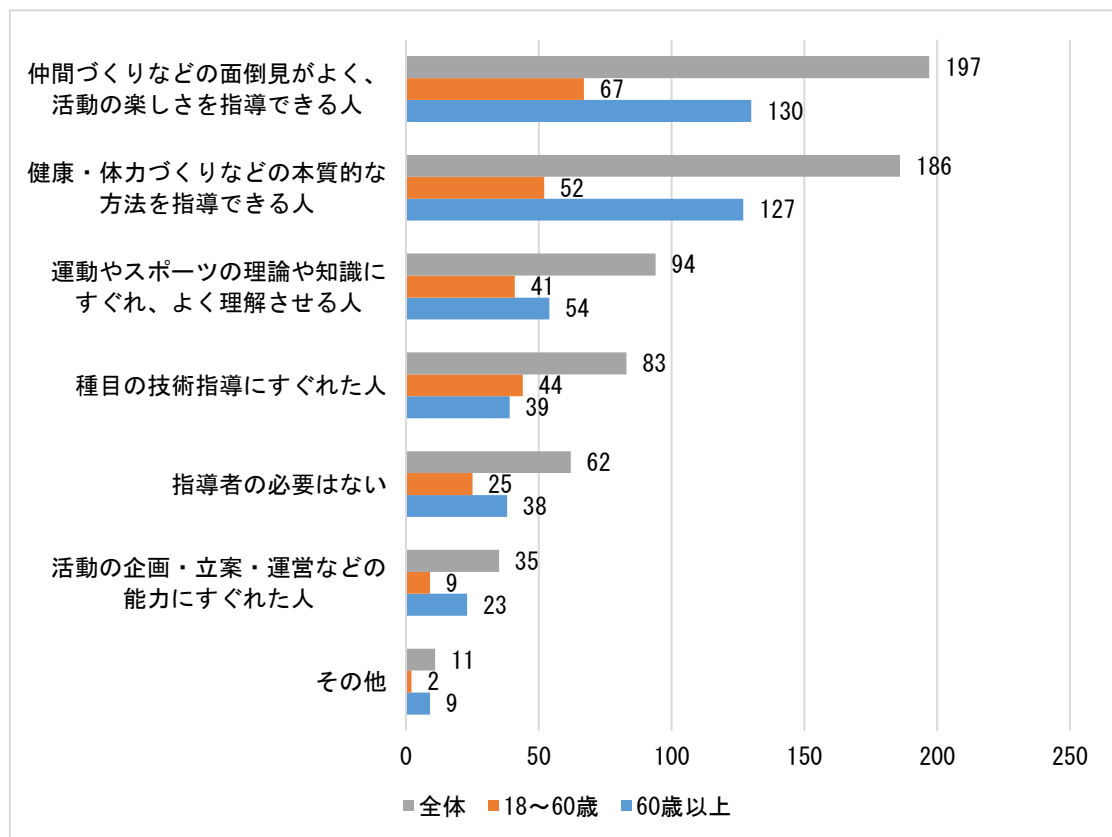


【問 11-2】 問 11 で「1. 入っている」と答えられた方にお聞きします。どのようなクラブやサークルに入っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

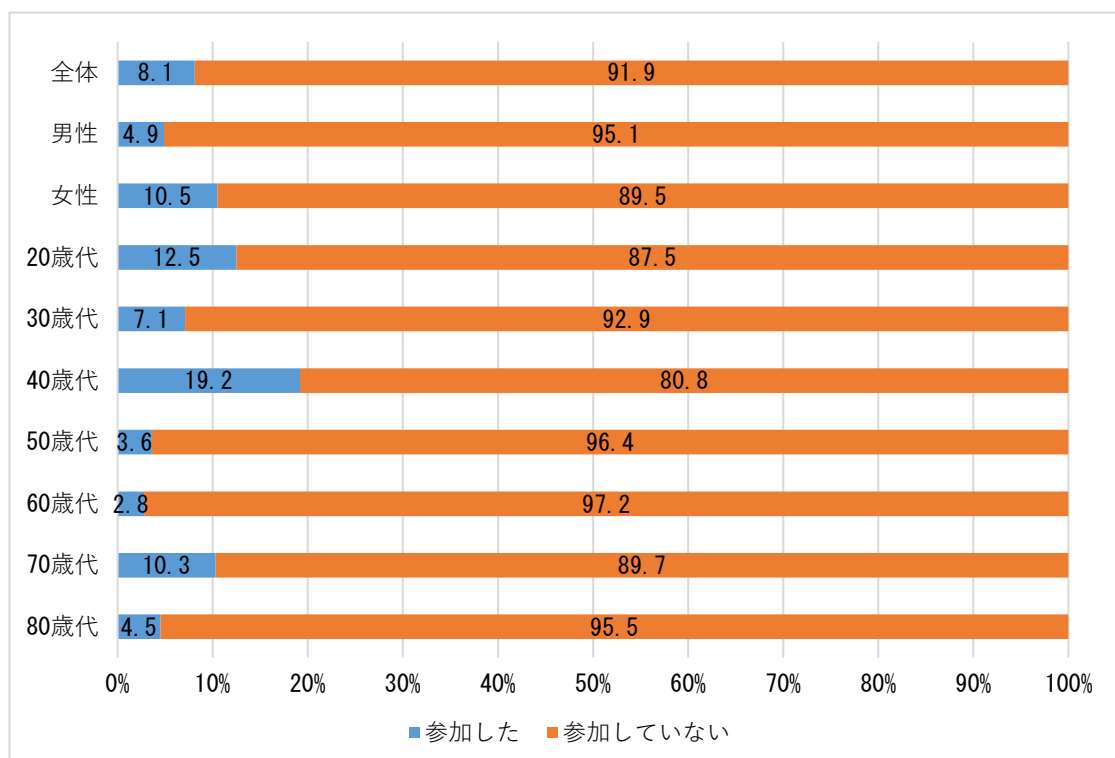
(複数回答・人)



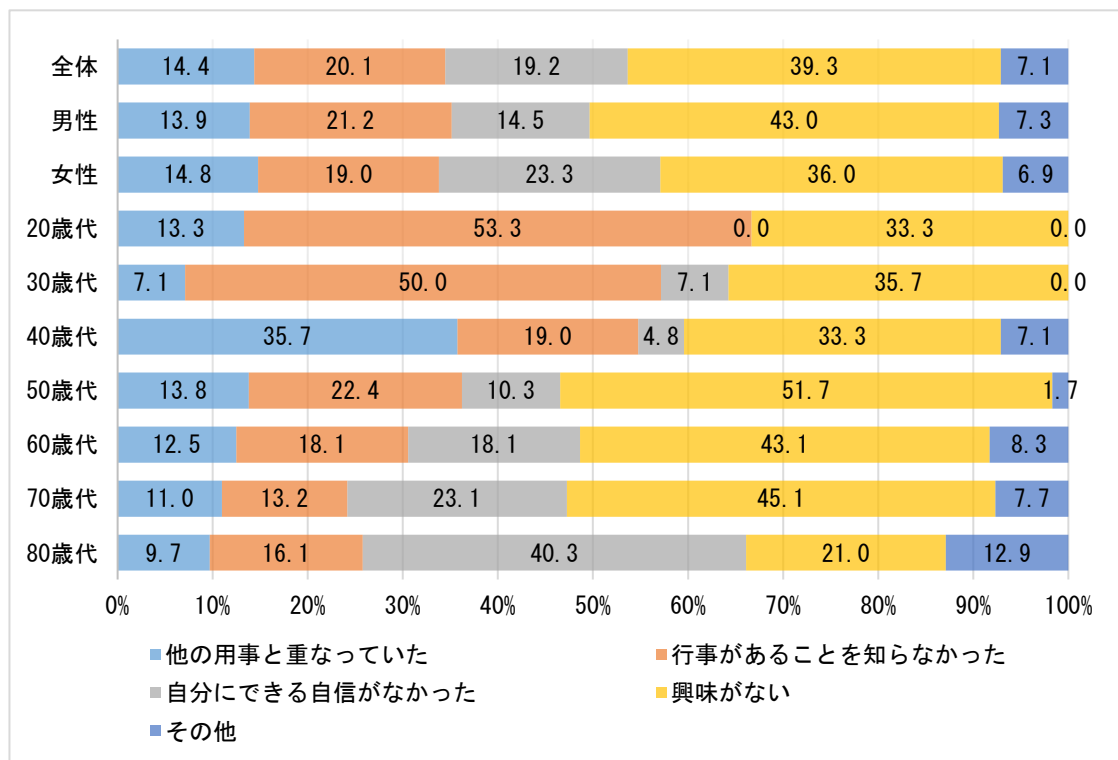
【問 12】あなたは、運動やスポーツをする際に、どのような人から指導を受けたいと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。（複数回答・人）



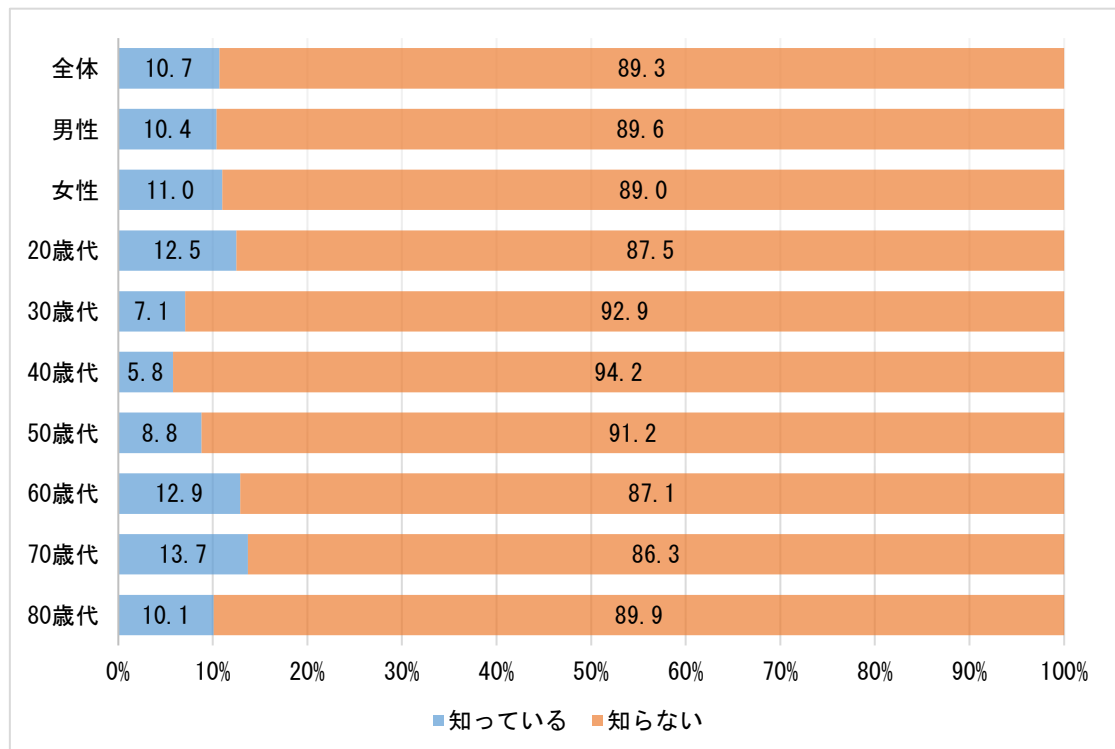
【問 13】あなたは、この1年間に平生町内で開かれたスポーツ行事に参加しましたか。



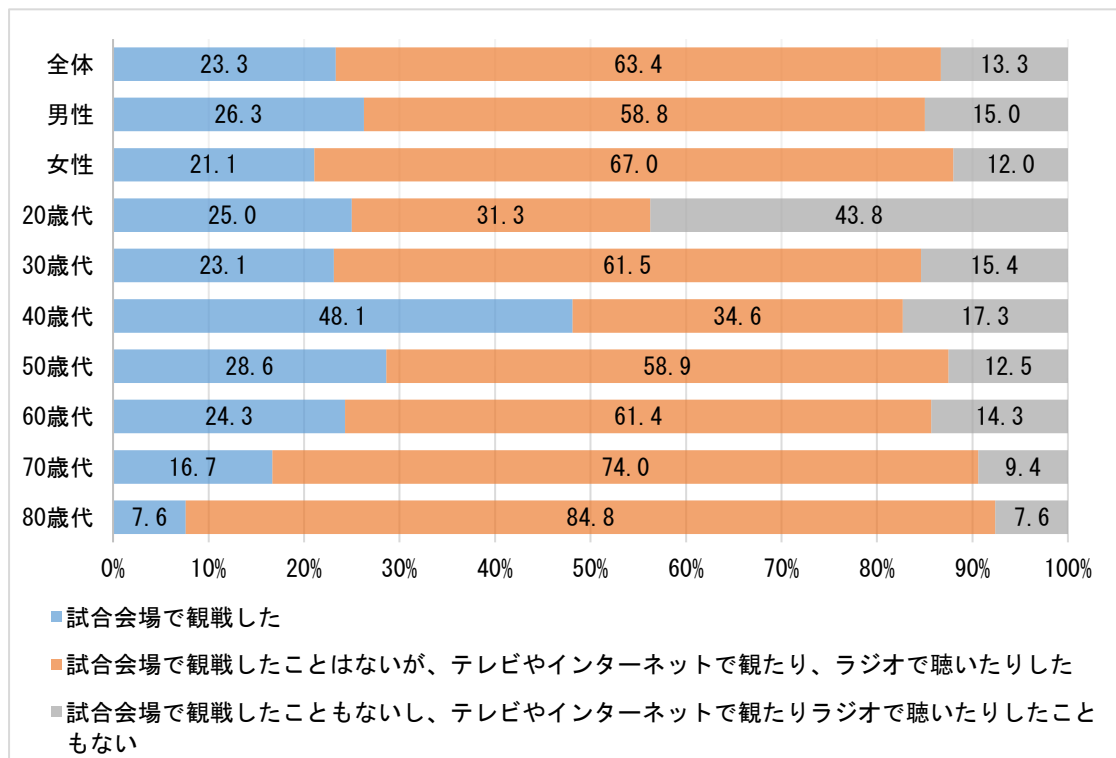
【問 13-2】「2. 参加していない」と答えられた方にお聞きします。その理由はなんですか。
 特にあてまるものを1つだけ選んでください。



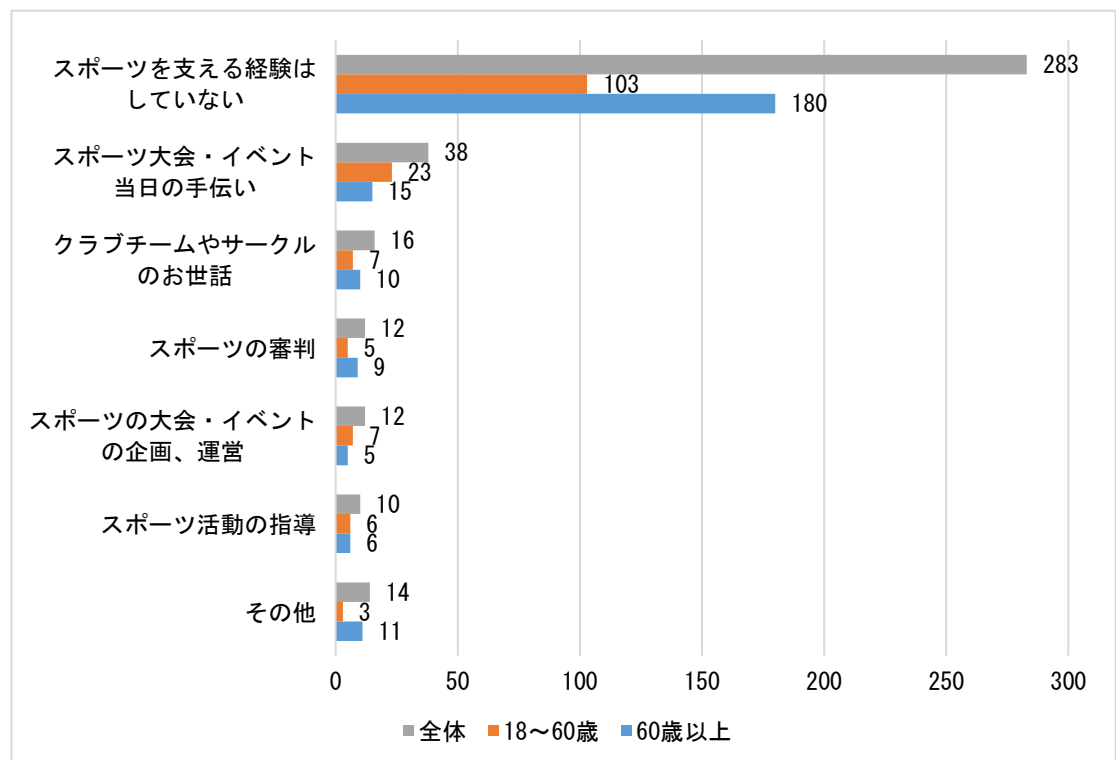
【問 14】あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。



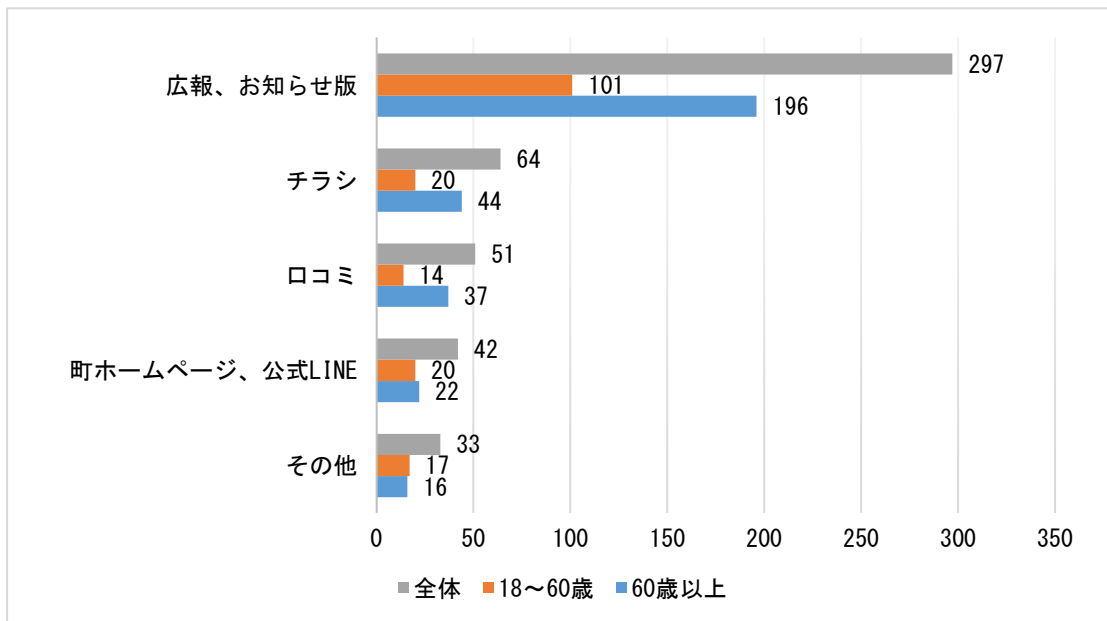
【問15】あなたは、過去1年間にスポーツ観戦（プロスポーツ、アマチュアスポーツ、家族や友人が出演する試合の観戦など）をしましたか。



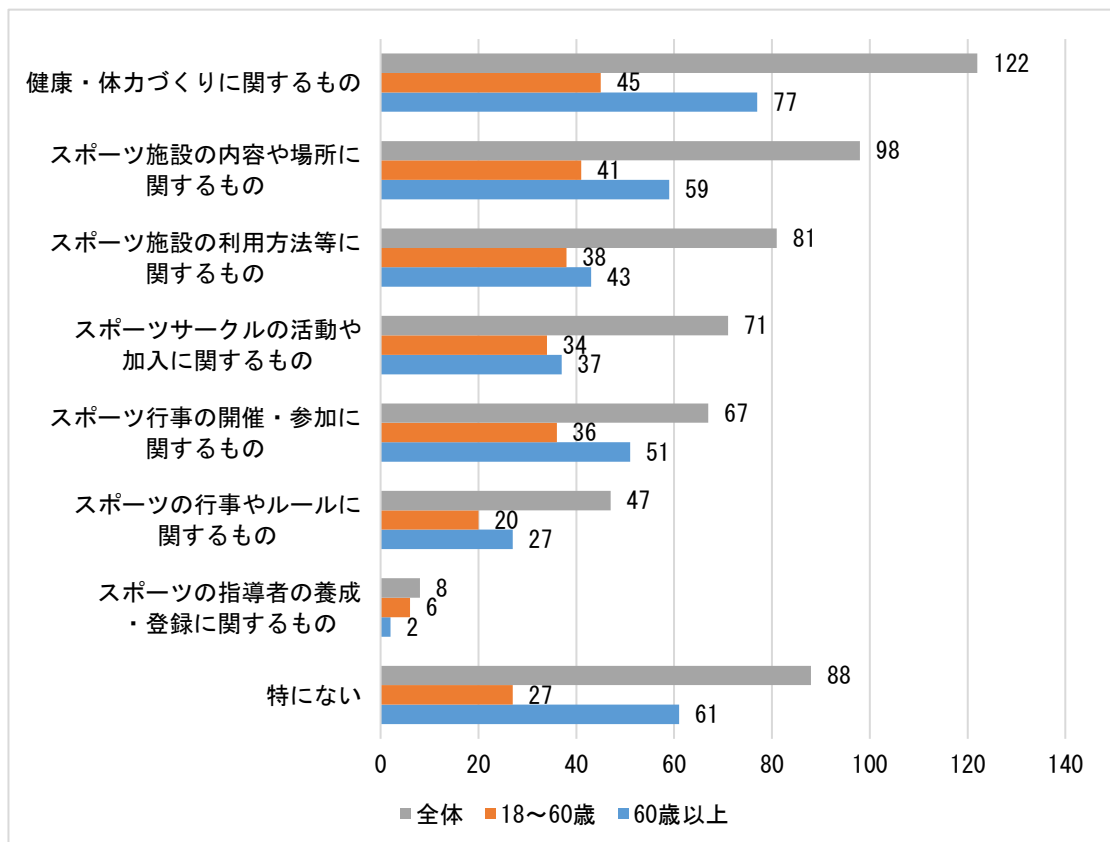
【問16】あなたは、過去1年間にどのような形でスポーツを支える経験をしましたか。特に当てはまるものを3つ選んでください。（複数回答・人）



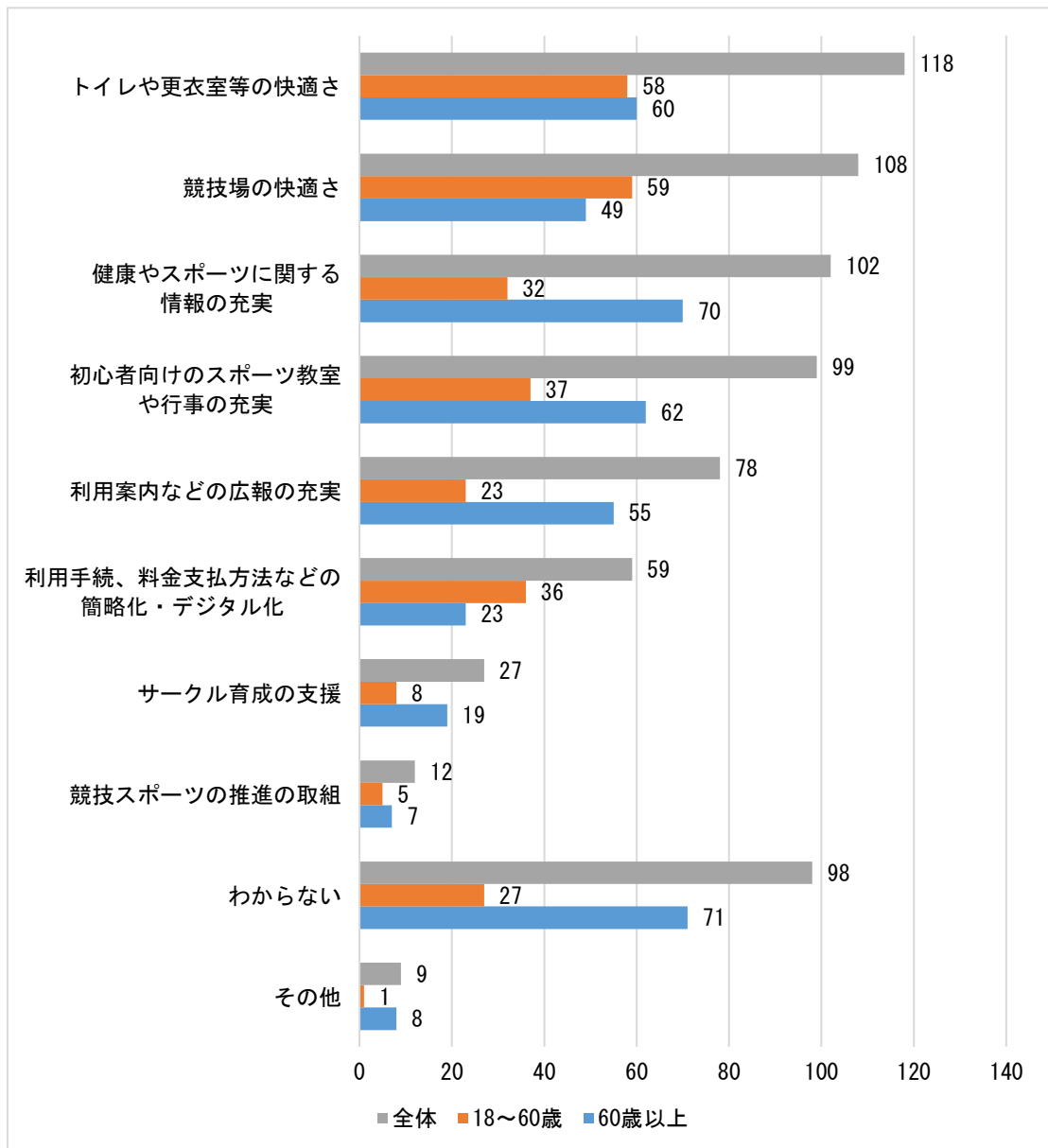
【問 17】平生町のスポーツに関する情報は、どこから入手していますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答・人)



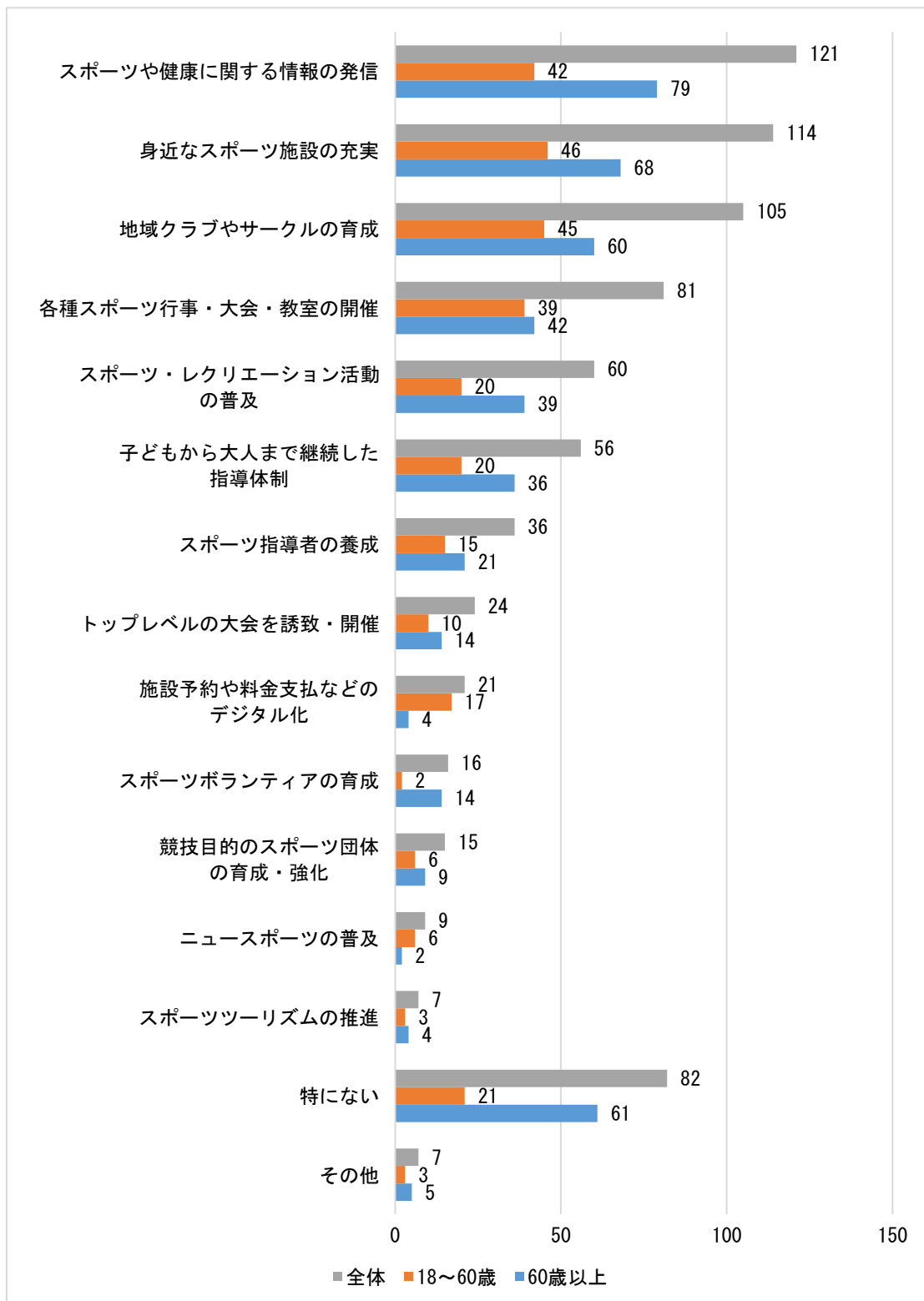
【問 18】スポーツに関する情報で、知りたいことは何ですか。いくつでも選んでください。(複数回答・人)



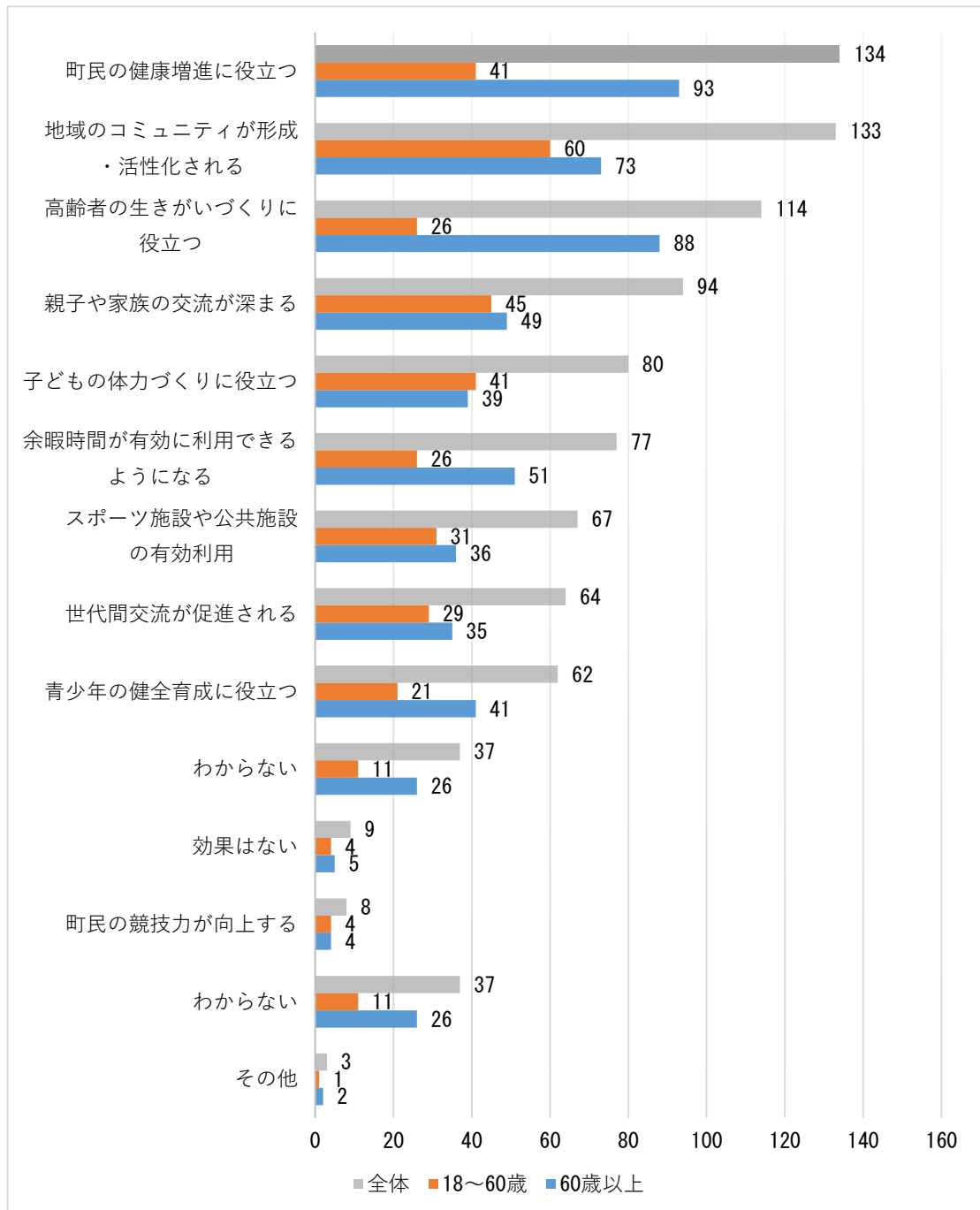
【問 19】 あなたが、平生町のスポーツ施設に望むことは何ですか。3 つまで選んでください。
 (複数回答・人)



【問 20】平生町のスポーツ環境をもっとよくするために、今後どのようなことが重要だと思いますか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。(複数回答・人)



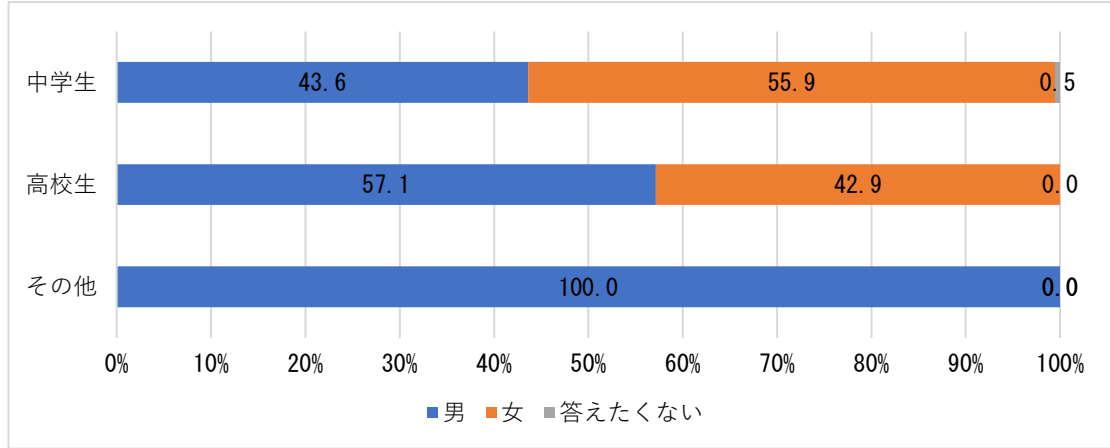
【問 21】あなたは、平生町でスポーツがより盛んになると、どのような効果があると思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。(複数回答・人)



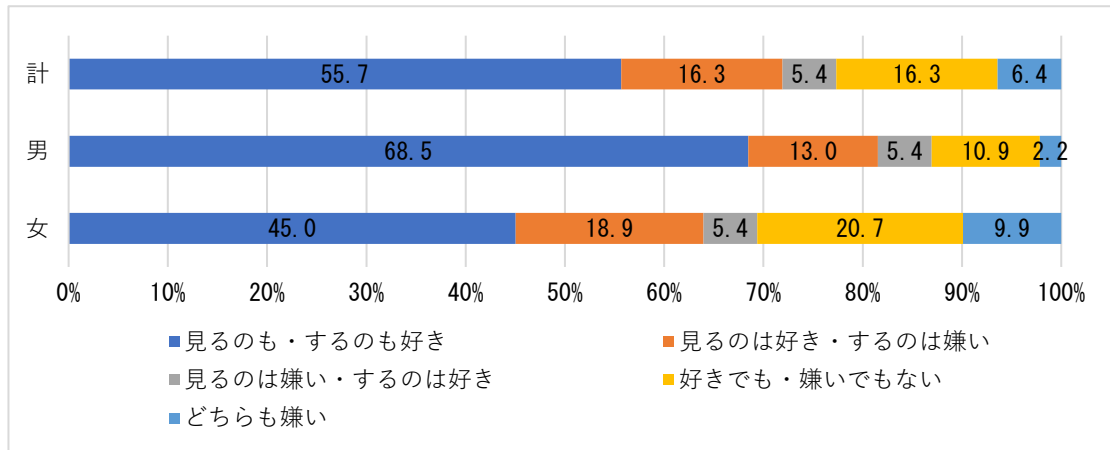
中高生

【F1】あなたは、中学生ですか、高校生ですか。

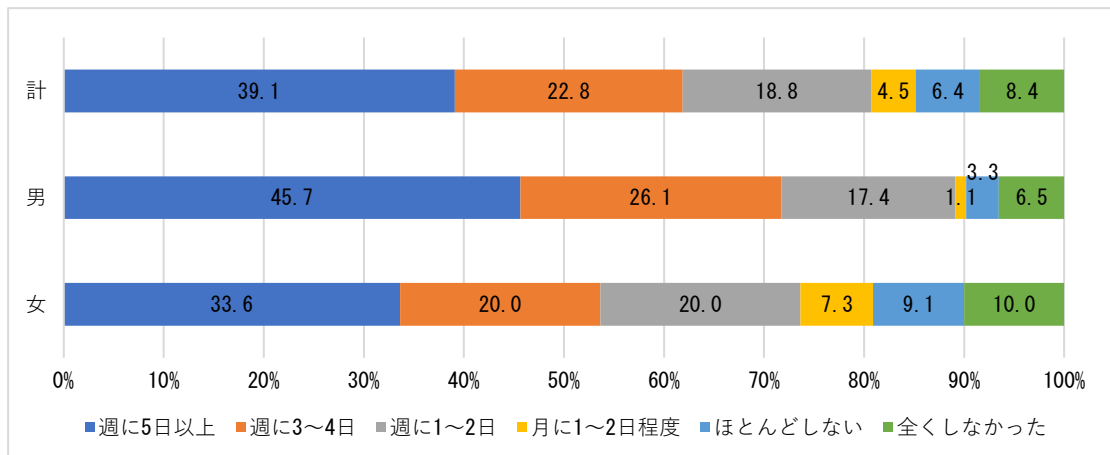
【F2】あなたの性別を教えてください。



【問1】あなたは、スポーツが好きですか。



【問2】あなたは、過去1年間に、体育の授業以外にどのくらいの頻度でスポーツを行いましたか。



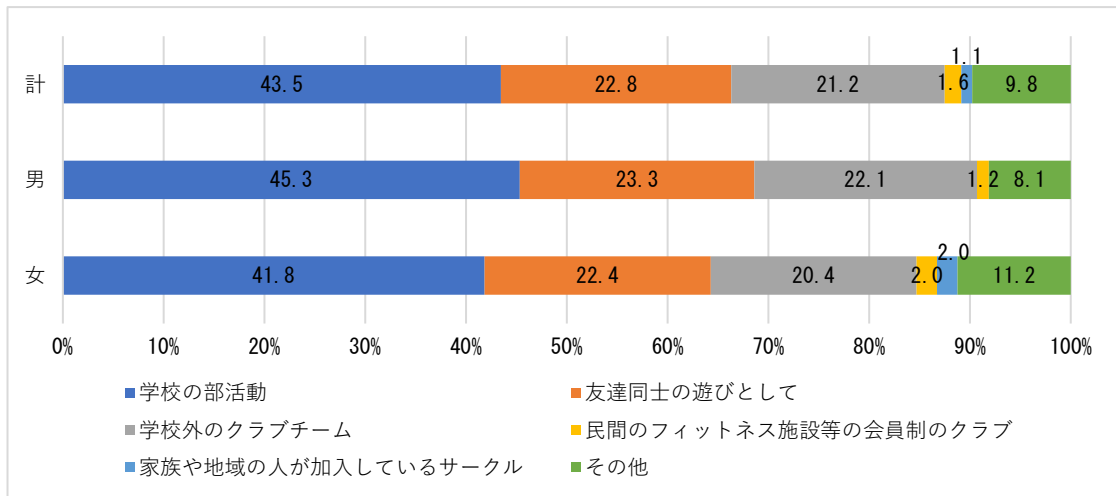
○ 問2で「スポーツを行った」と答えられた方にお聞きします。

【問3】あなたが体育の授業以外に行ったスポーツ種目は何ですか。よく行った種目を3つまで選んでください。(複数回答)

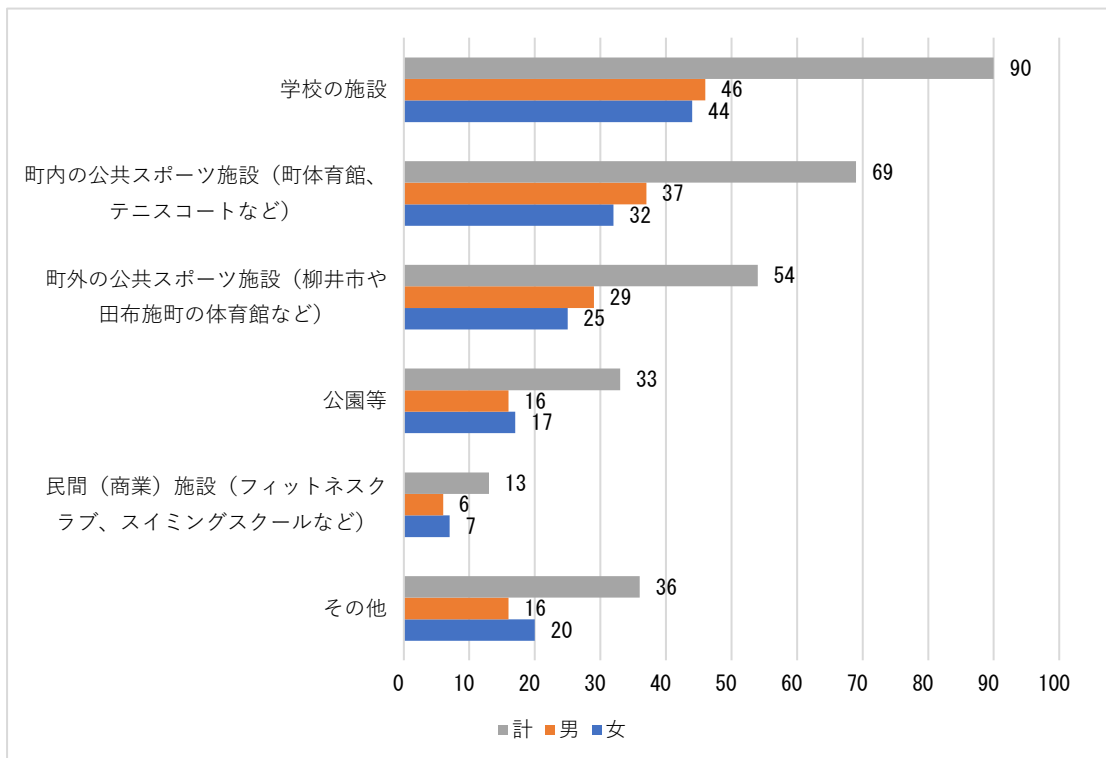
(人)

	男	女	計
ソフトテニス	19	17	36
バドミントン	7	28	35
バレーボール	14	17	31
野球	27	3	30
バスケットボール	18	12	30
ウォーキング・散歩	6	24	30
卓球	17	10	27
ジョギング・ランニング	9	17	26
水泳競技	10	13	23
軽い体操（ラジオ体操、美容目的の体操など）	4	16	20
サッカー	15	1	16
ダンス（ダンスフィットネス、フラダンス、社交ダンス含む）	0	13	13
陸上競技	5	6	11
空手	6	4	10
軽い球技（キャッチボール、円陣パス）	5	3	8
テニス	2	4	6
剣道	4	2	6
トレーニングマシンを使った運動	2	3	5
レスリング	2	1	3
ボウリング	1	2	3
ソフトボール	2	0	2
ソフトバレーボール	0	2	2
柔道	1	1	2
スキー・スノーボード	1	1	2
弓道	1	1	2
ハンドボール	0	1	1
サイクリング	1	0	1
水中ウォーキング	0	1	1
ゴルフ（打ちっ放し、ショートコース含む）	0	0	0
ゲートボール・グラウンドゴルフ	0	0	0
登山・ハイキング	0	0	0
キャンプ	0	0	0
その他	2	5	7

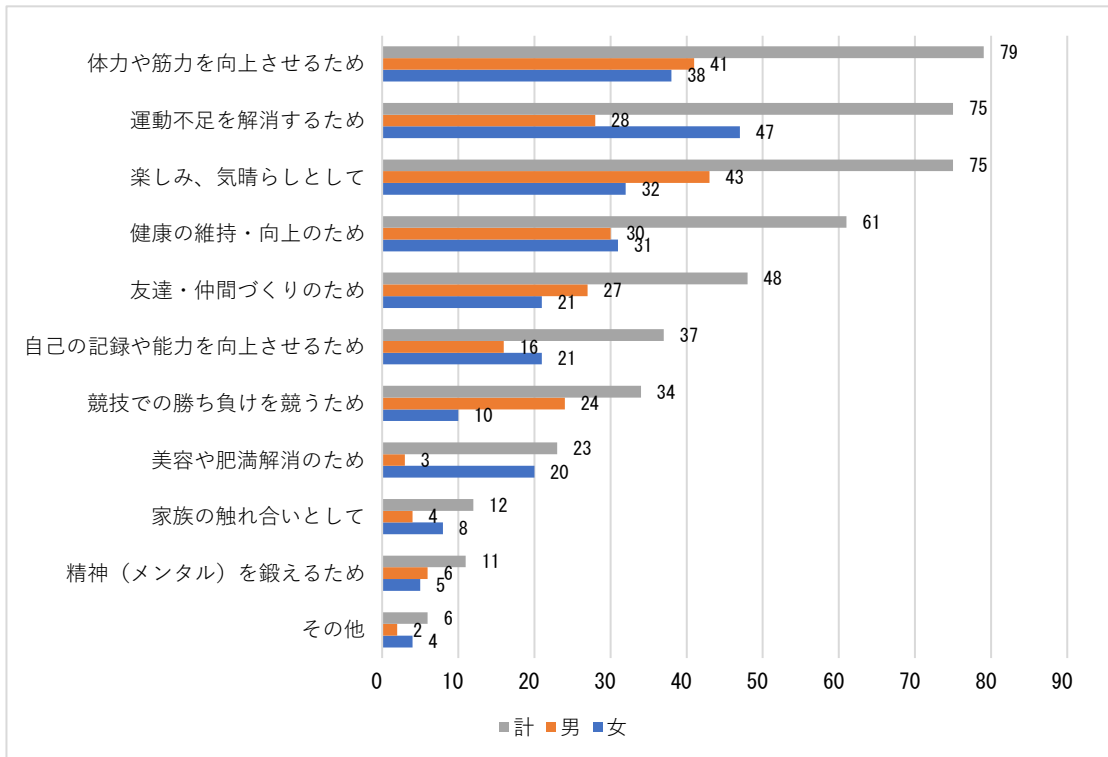
【問4】そのスポーツは、主にどのような活動として行いましたか。



【問5】そのスポーツは主にどこで行いましたか。よく利用した施設を3つまで選んでください。(複数回答・人)



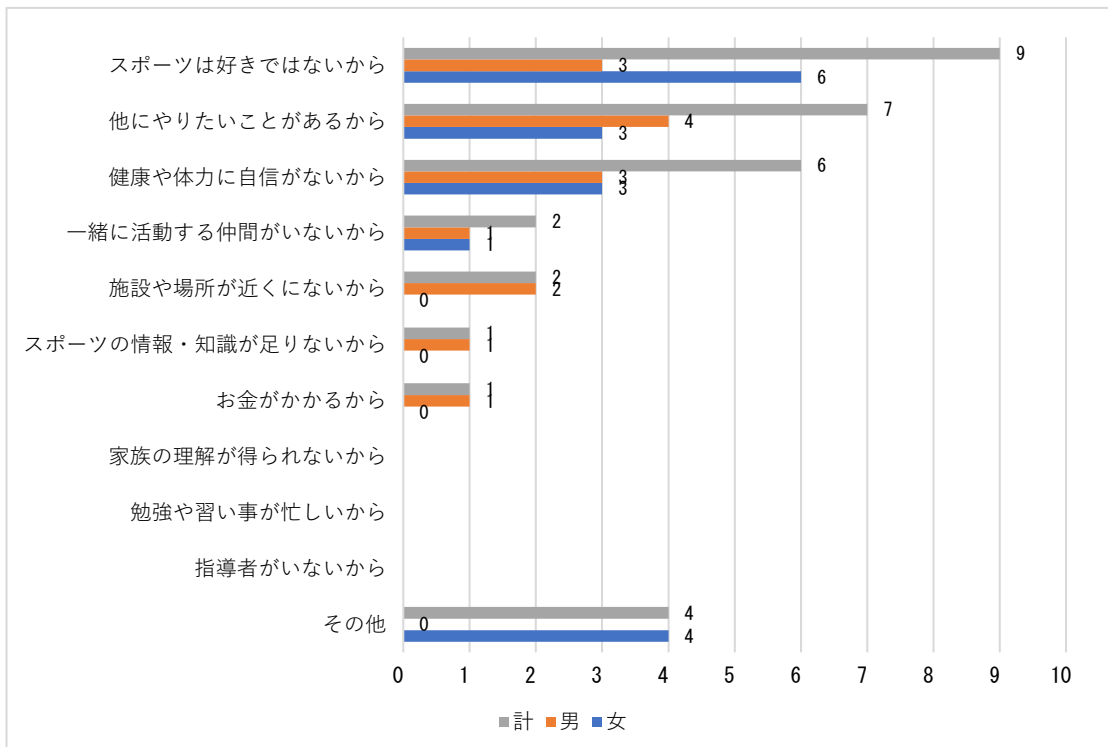
【問 6】あなたがスポーツする目的はどれですか。特に当てはまるものを 3 つまで選んでください。(複数回答・人)



○ 問 2 で「7. 全くしなかった」と答えられた方にお聞きします。

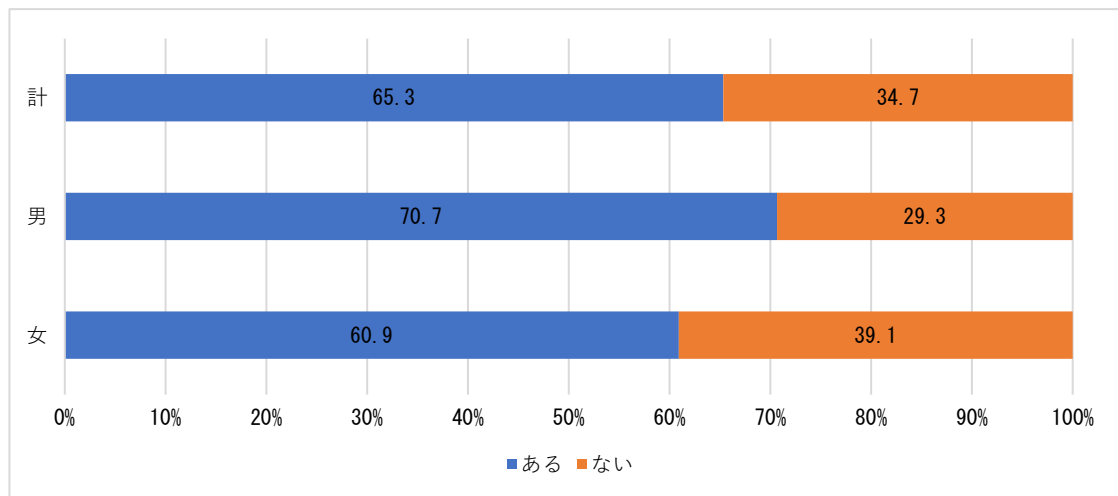
【問 7】その理由は何ですか。特に当てはまるものを 3 つまで選んでください。

(複数回答・人)



○ ここからは、全員にお聞きします。

【問 8】 あなたがこれからやってみたい、もしくは続けていきたいスポーツはありますか。

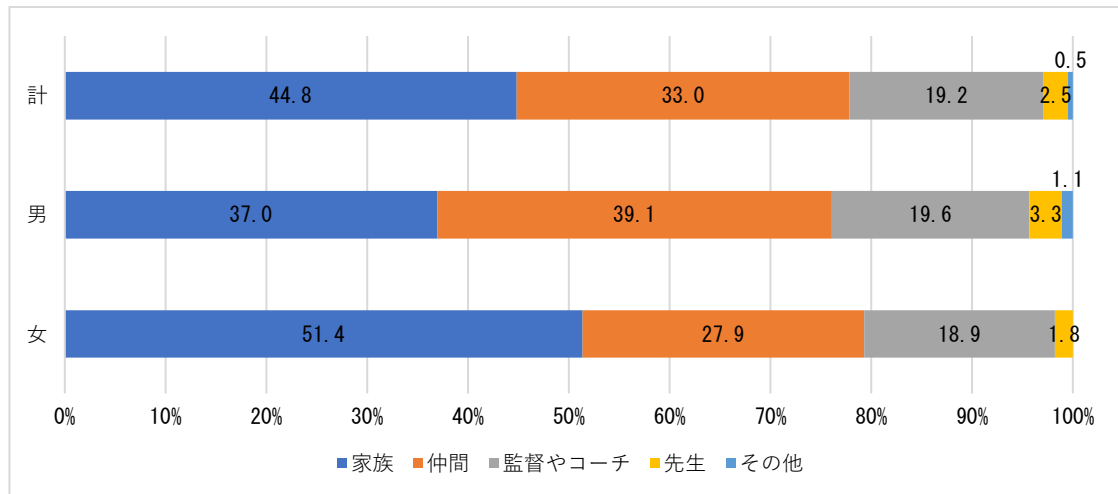


【問 8-2】上記で「1. ある」と答えられた方にお聞きします。そのスポーツの種目は何ですか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。(複数回答)

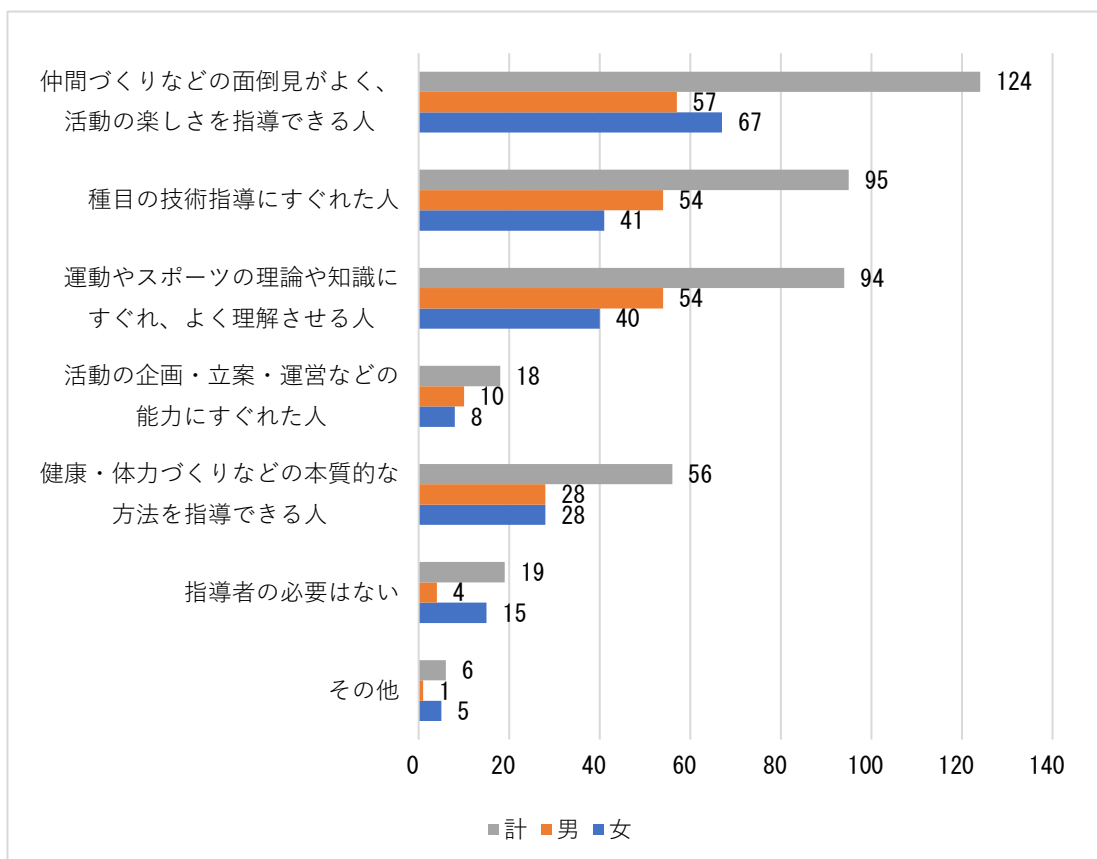
(人)

	男	女	計
バレーボール	10	17	27
ソフトテニス	11	12	23
野球	17	3	20
バドミントン	7	11	18
バスケットボール	9	6	15
卓球	11	4	15
ダンス (ダンスフィットネス、フラダンス、社交ダンス含む)	2	11	13
ジョギング・ランニング	5	7	12
サッカー	9	0	9
テニス	2	6	8
ウォーキング・散歩	3	5	8
水泳競技	1	6	7
空手	4	3	7
陸上競技	4	3	7
弓道	3	2	5
軽い体操 (ラジオ体操、美容目的の体操など)	2	2	4
レスリング	0	4	4
スキー・スノーボード	3	1	4
トレーニングマシンを使った運動	2	1	3
ボウリング	2	1	3
ソフトバレーボール	1	1	2
軽い球技 (キャッチボール、円陣パス)	2	0	2
ハンドボール	1	0	1
剣道	0	1	1
ソフトボール	0	0	0
ゴルフ (打ちっ放し、ショートコース含む)	0	0	0
ゲートボール・グランドゴルフ	0	0	0
柔道	0	0	0
登山・ハイキング	0	0	0
キャンプ	0	0	0
サイクリング	0	0	0
水中ウォーキング	0	0	0
その他	2	2	4

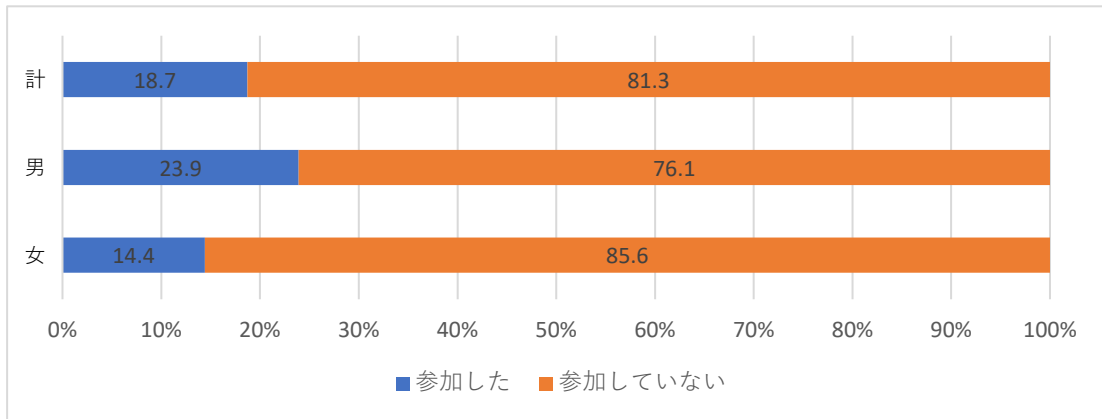
【問9】あなたは、運動やスポーツをする際に、どのような人に相談しようと思いますか。



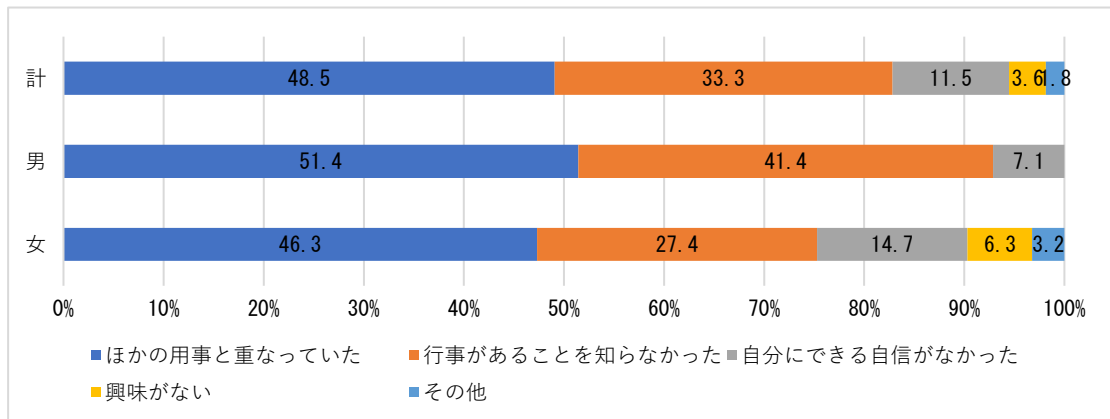
【問10】あなたは、運動やスポーツをする際に、どのような人から指導を受けたいと思いますか。(複数回答・人)



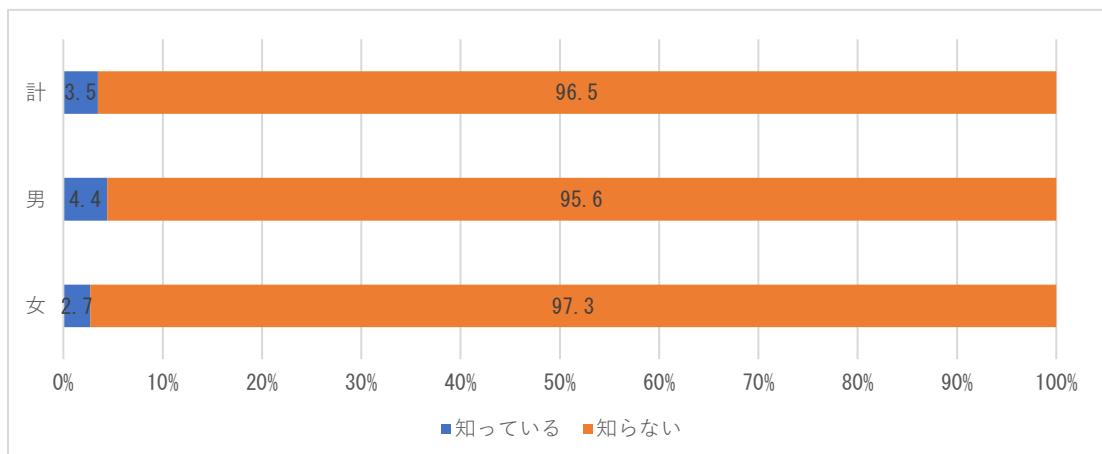
【問 11】 あなたは、この1年間に平生町内で開かれたスポーツ行事に参加しましたか。



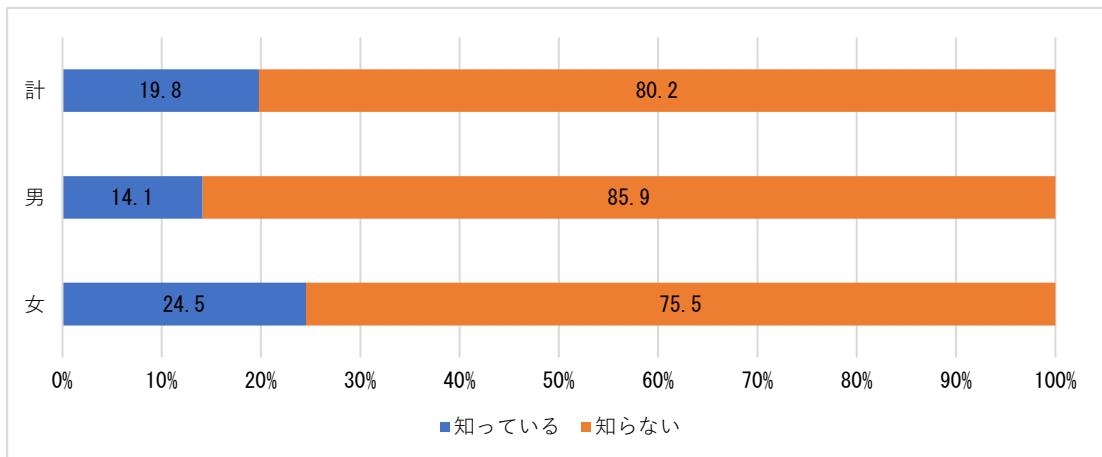
【問 11-2】 「2. 参加していない」と答えられた方にお聞きします。その理由はなんですか。特にあてまるものを1つだけ選んでください。



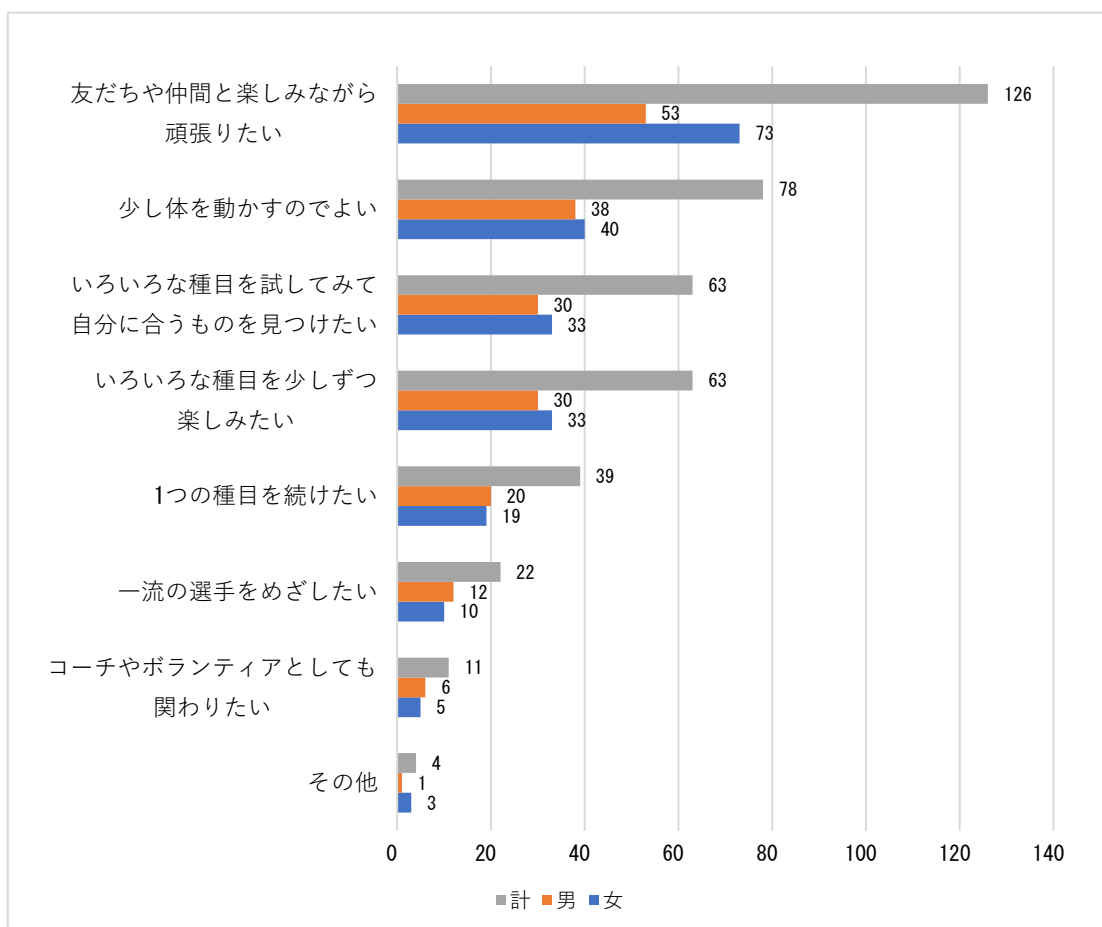
【問 12】 あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。



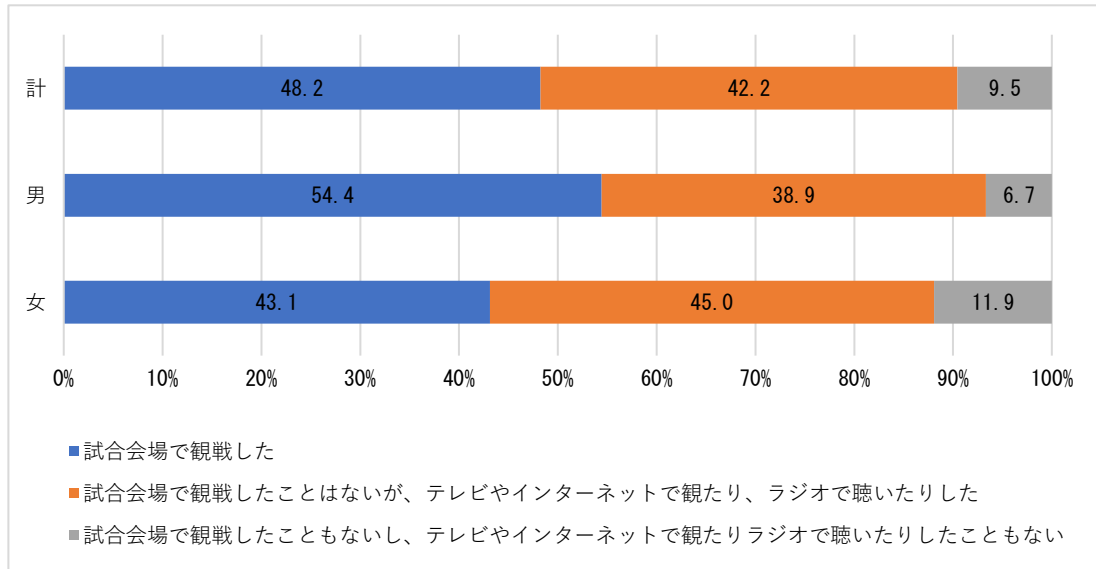
【問 13】あなたは、中学校の休日の部活動が、将来的に地域で実施されること（休日の学校部活動の地域移行）を知っていますか。



【問 14】今後、学校部活動だけでなく、地域でもスポーツが盛んにできるようになった際にどのような活動をしてみたいと思いますか。特に当てはまるものを3つまで選んでください。（複数回答・人）

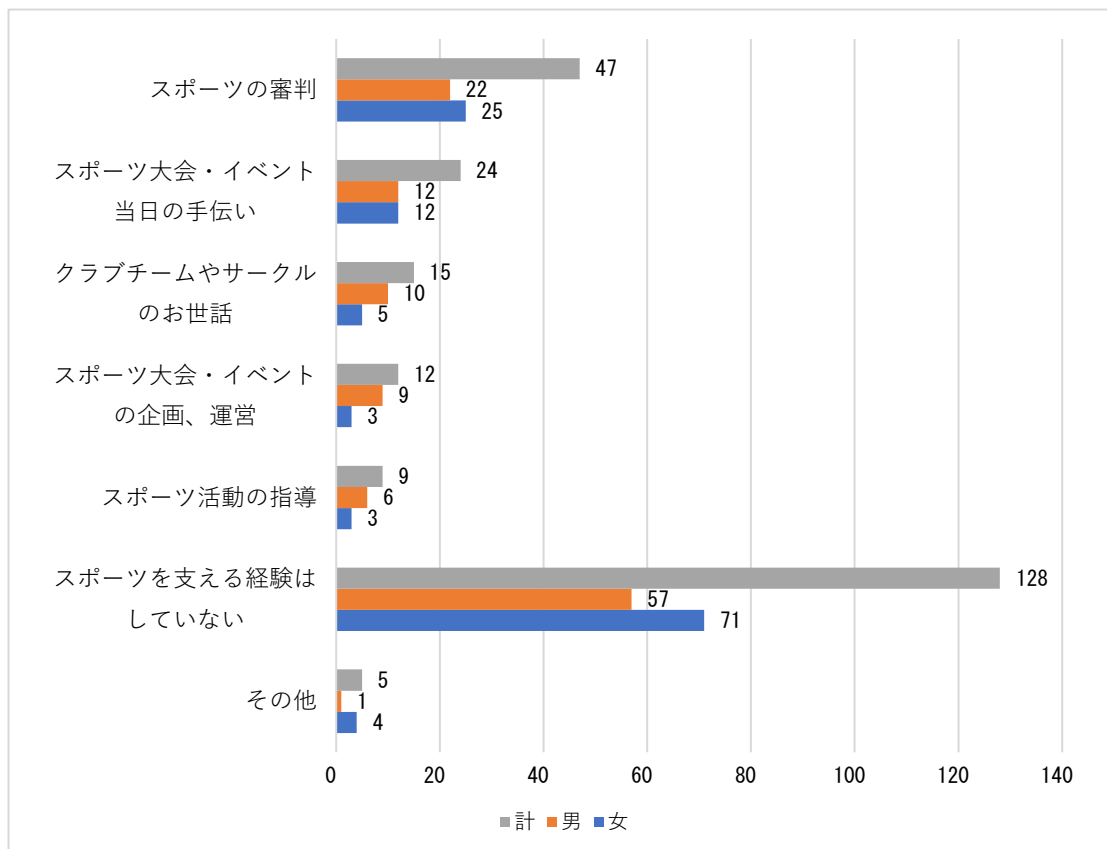


【問 15】あなたは、過去1年間にスポーツ観戦（プロスポーツ、アマチュアスポーツ、部活動の大会等の家族や友人が出演する試合など）をしましたか。

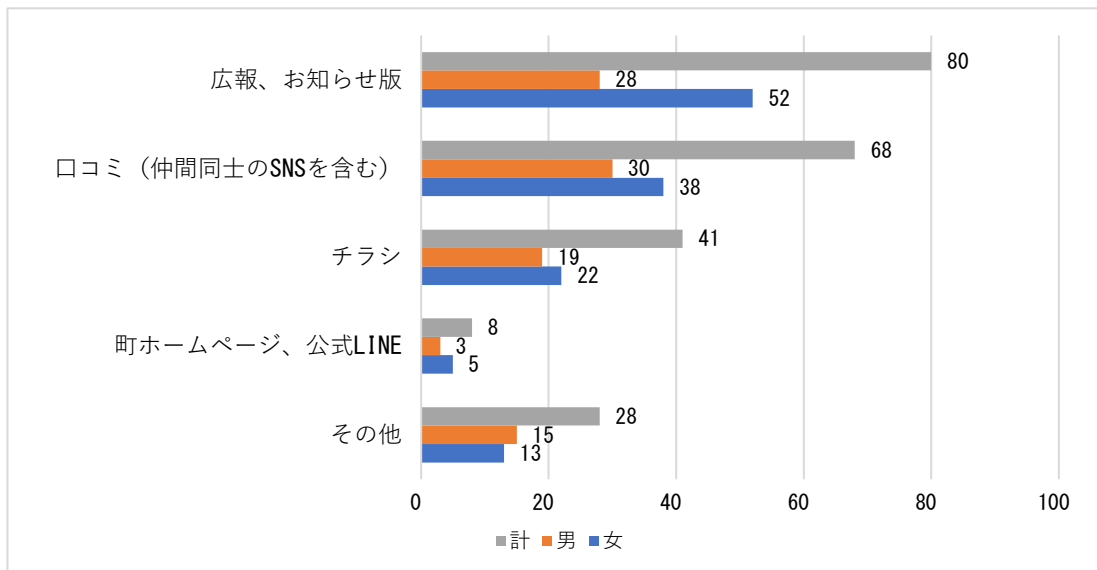


【問 16】あなたは、過去1年間にどのような形でスポーツを支える経験をしましたか（部活動の大会等を含みます）。特に当てはまるものを3つまで選んでください。

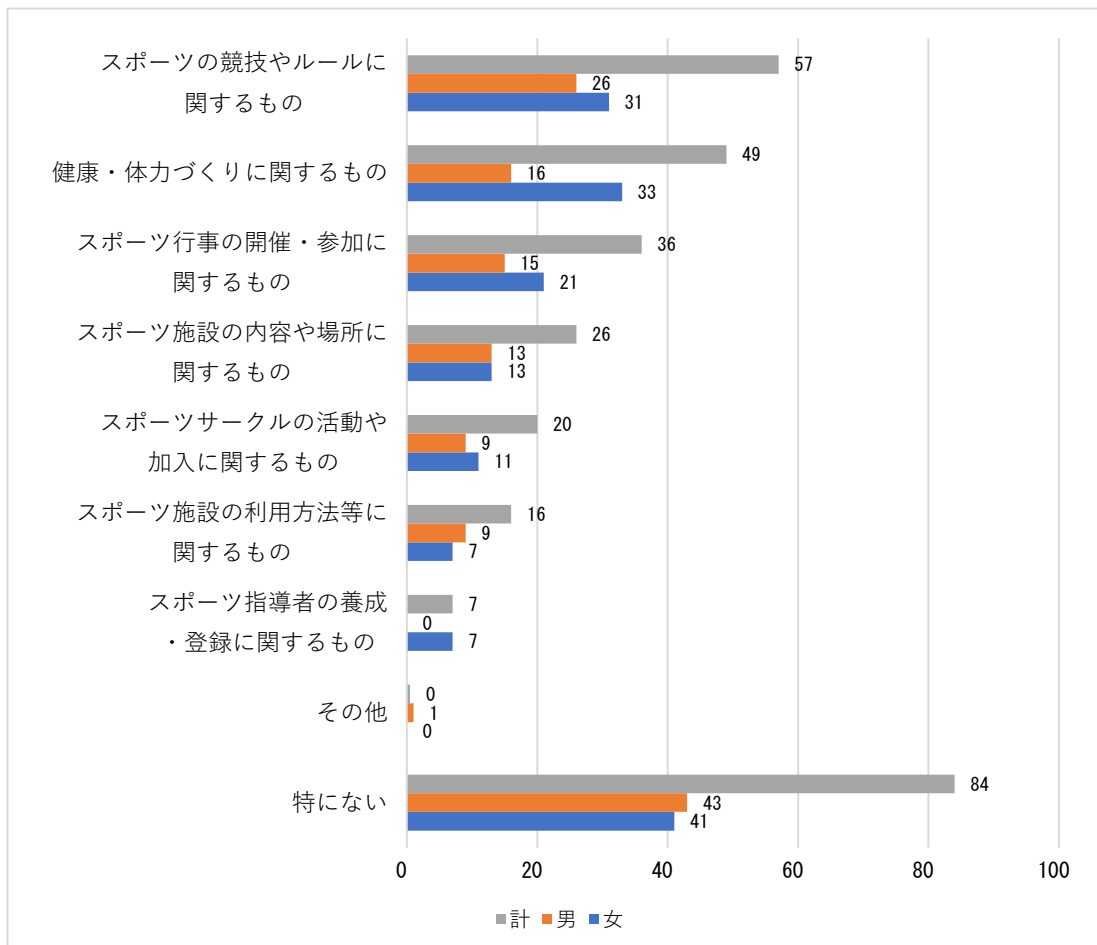
（複数回答・人）



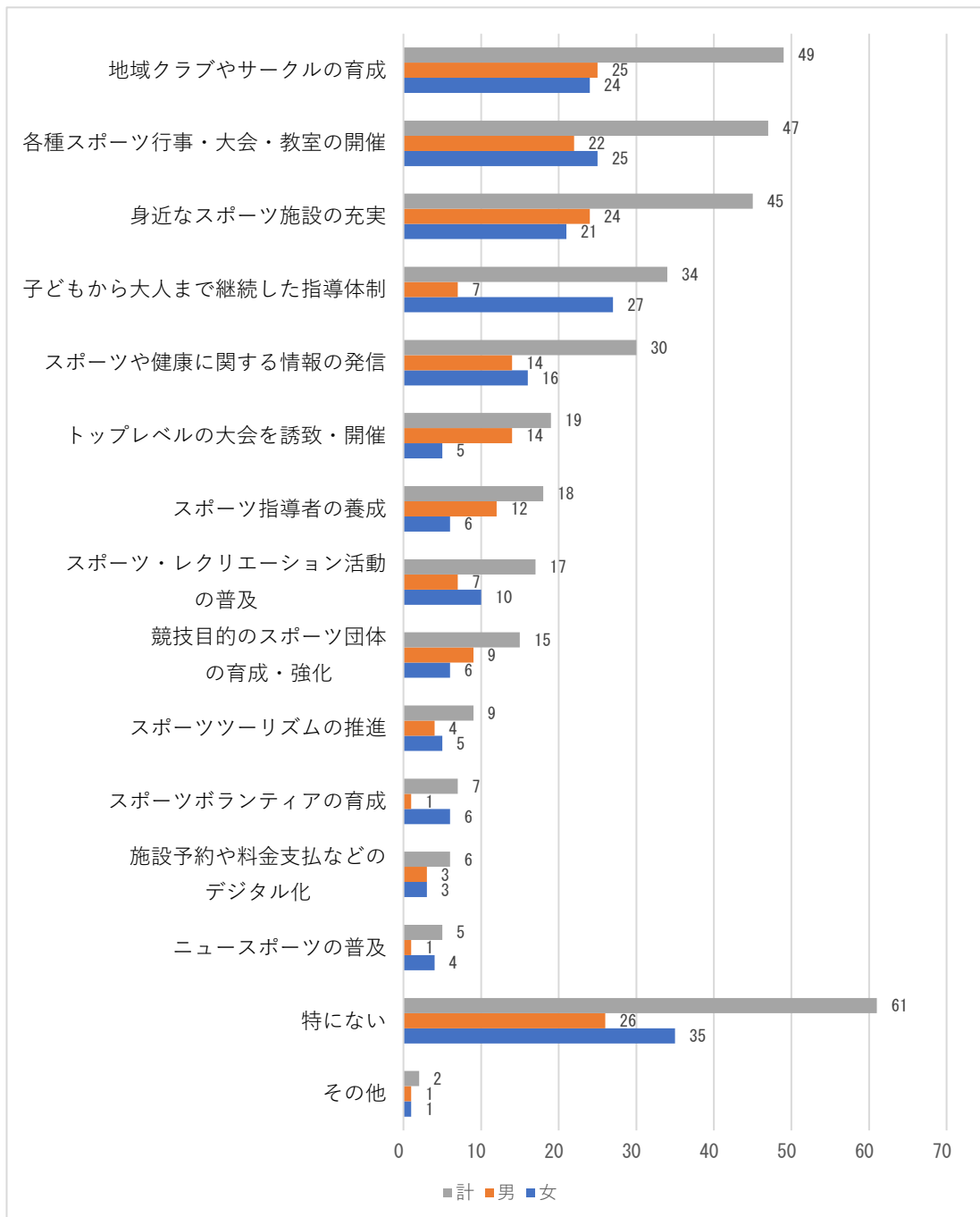
【問 17】平生町のスポーツに関する情報は、どこから入手していますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答・人)



【問 18】スポーツに関する情報で、知りたいことは何ですか。いくつでも選んでください。(複数回答・人)

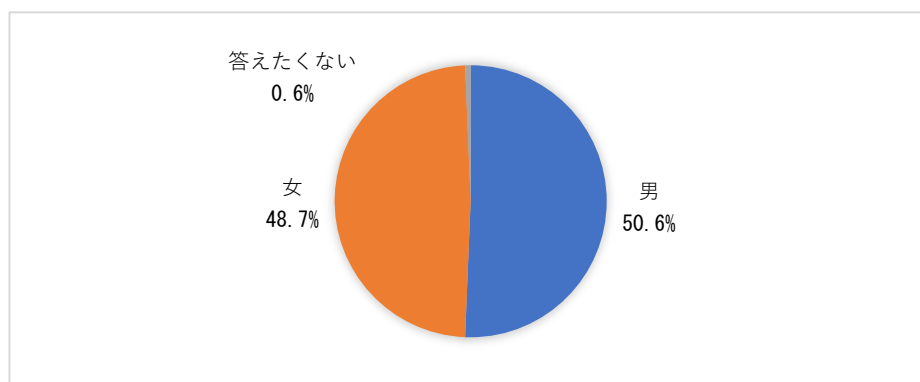


【問 19】平生町のスポーツ環境をもっとよくするために、今後どのようなことが重要だと思いますか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。(複数回答・人)

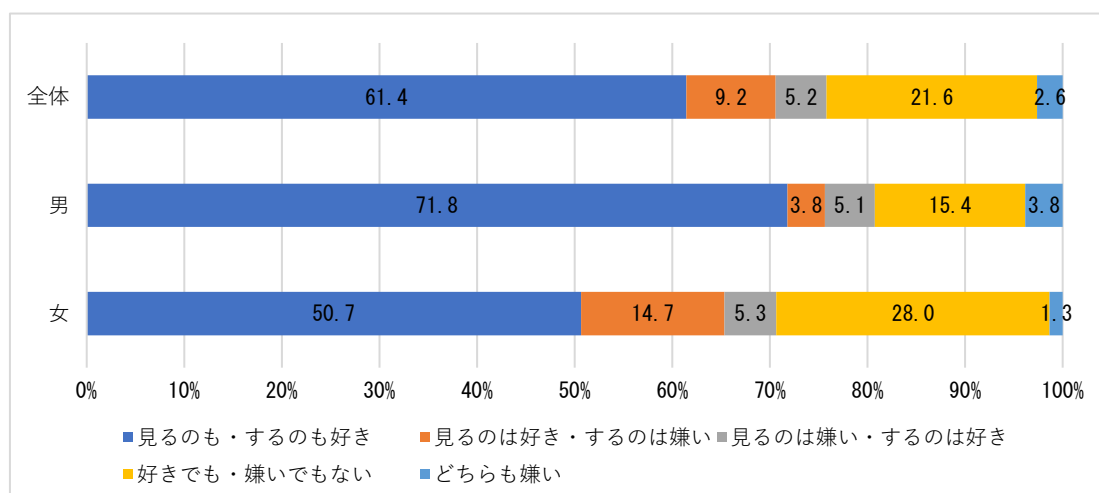


小学生

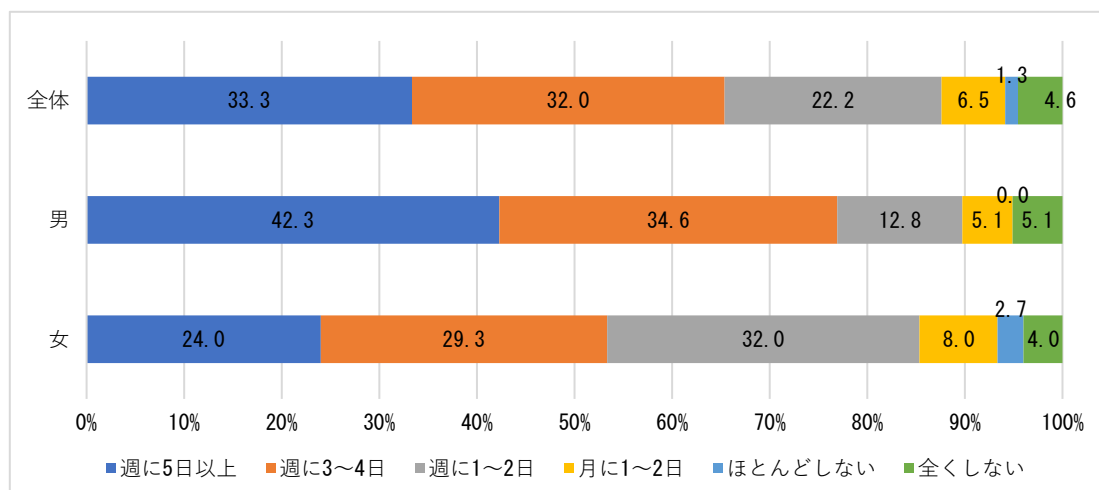
【F 1】 あなたの性別を教えてください。



【問 1】 あなたはスポーツや運動・外遊びが好きですか。

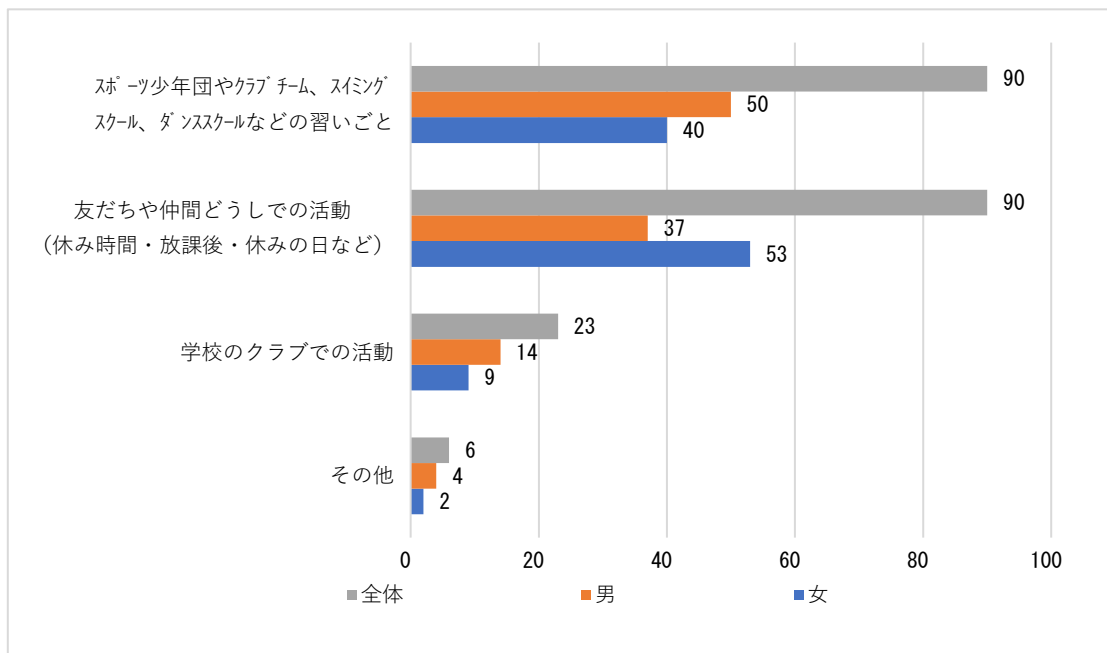


【問 2】 あなたは、体育の授業以外に、どのくらいスポーツや運動・外遊びをおこなっていますか。※ 運動・外遊びには、休み時間などで外に出て遊ぶことも含みます。



○ 問2で「スポーツを行っている」と答えられた人にお聞きします。

【問3】そのスポーツや運動・外遊びはどんな活動ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答・人)

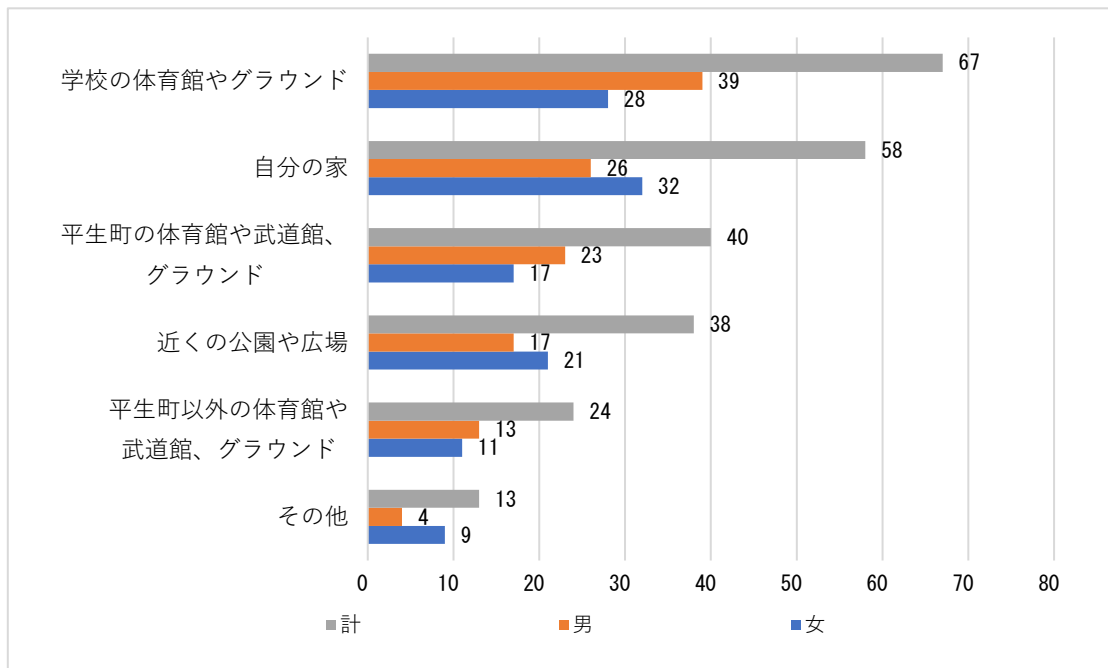


【問 4】あなたが、体育の授業以外によくおこなっているスポーツや運動・外遊びはどんな種目や活動ですか。よくおこなっているものを 3 つまで選んでください。(複数回答)

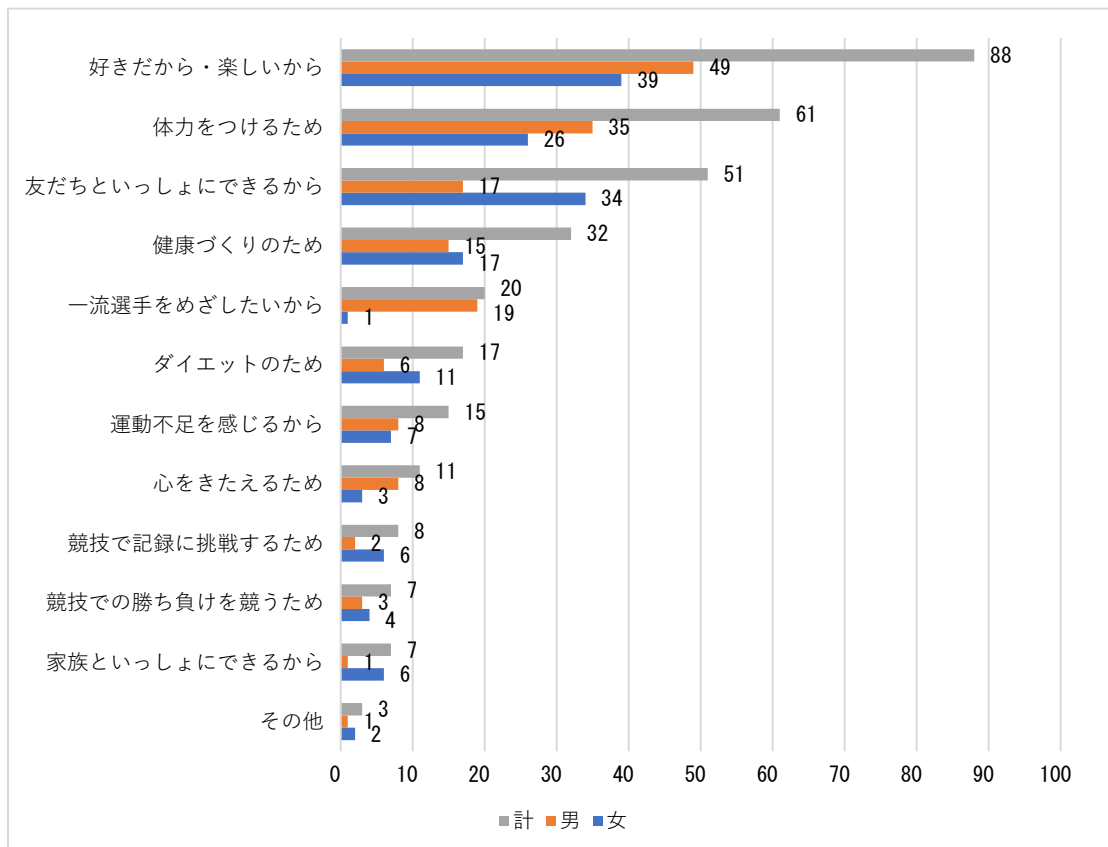
(人)

	男	女	計
外遊び（おにごっこ、ケイトロ、キャッチボール、ボール遊び、なわとびなど）	38	37	75
遊具遊び（すべり台、ブランコ、鉄棒、一輪車など）	9	27	36
ダンス（フラダンス、チアダンスなど）	0	21	21
野球	16	4	20
サッカー	16	4	20
バスケットボール	10	5	15
水泳競技	7	8	15
バドミントン	4	9	13
空手	6	4	10
釣り	9	1	10
ジョギング・ランニング	3	6	9
バレーボール	3	5	8
陸上競技	2	6	8
ウォーキング・散歩	1	6	7
卓球	2	3	5
剣道	4	1	5
柔道	1	2	3
レスリング	2	1	3
テニス	1	1	2
軽い体操（ラジオ体操など）	1	1	2
キャンプ	0	2	2
サイクリング	2	0	2
ソフトバレーボール	1	0	1
ボウリング	0	1	1
ソフトテニス	0	0	0
スキー・スノーボード	0	0	0
スケート	0	0	0
弓道	0	0	0
登山・ハイキング	0	0	0
その他	4	5	9

【問 5】 どんなところでスポーツや運動・外遊びをしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答・人)

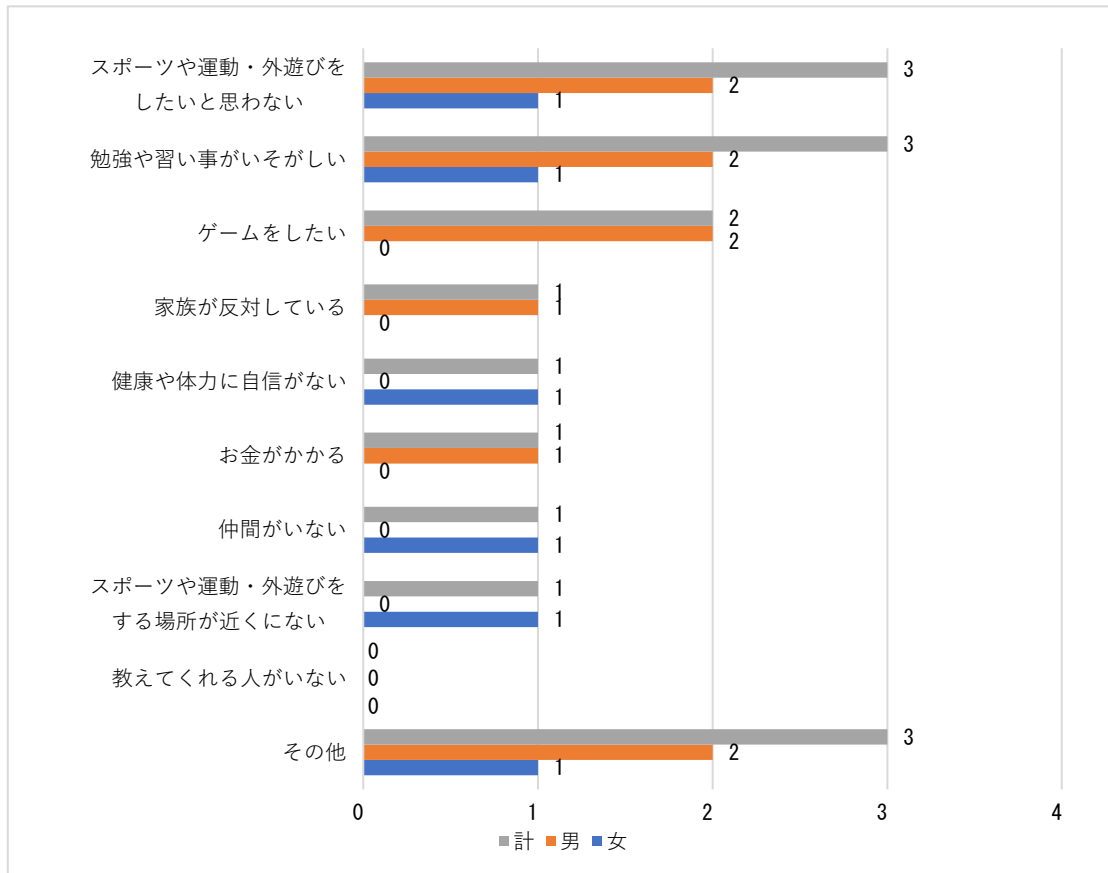


【問 6】 あなたが、スポーツや運動・外遊びをおこなっている目的や理由を教えてください。あてはまるものを3つまで選んでください。(複数回答・人)

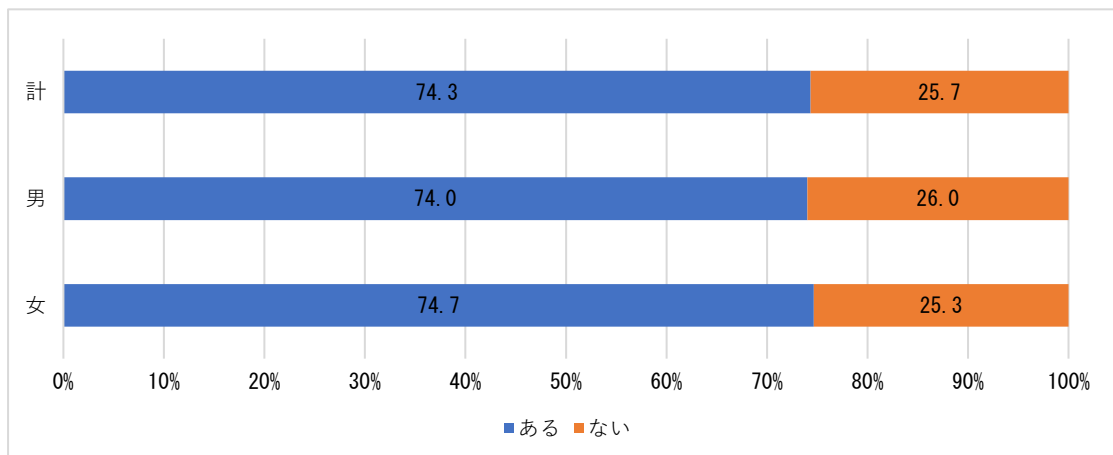


○問2で「7. まったくしない」と答えられた人にお聞きします。

【問7】スポーツや運動・外遊びをしないのはなぜですか。あてはまるものを3つまで選んでください。(複数回答・人)



【問8】あなたがこれからやってみたい、または続けていきたいスポーツや運動・外遊びはありますか。



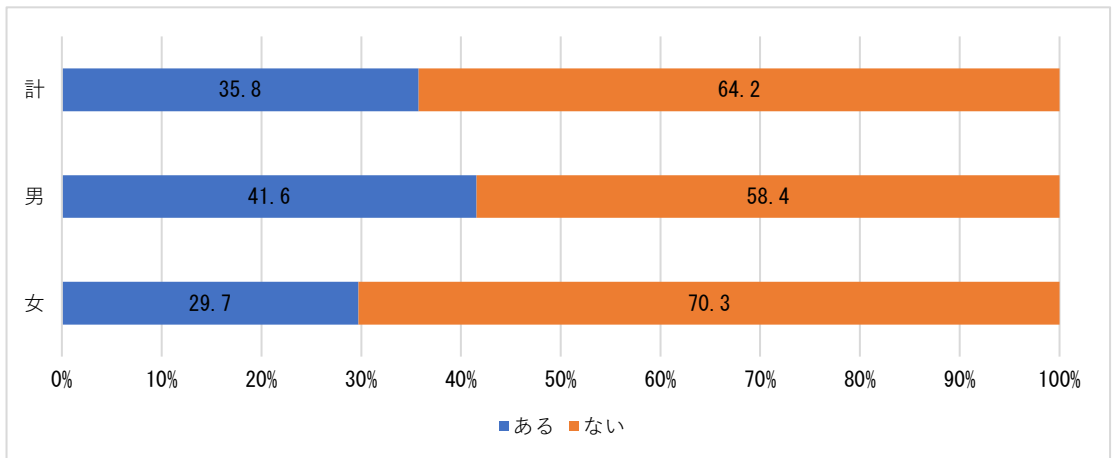
【問8-2】問8で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。そのスポーツや運動・外遊びはどんな種目や活動ですか。3つまで選んでください。（複数回答）

(人)

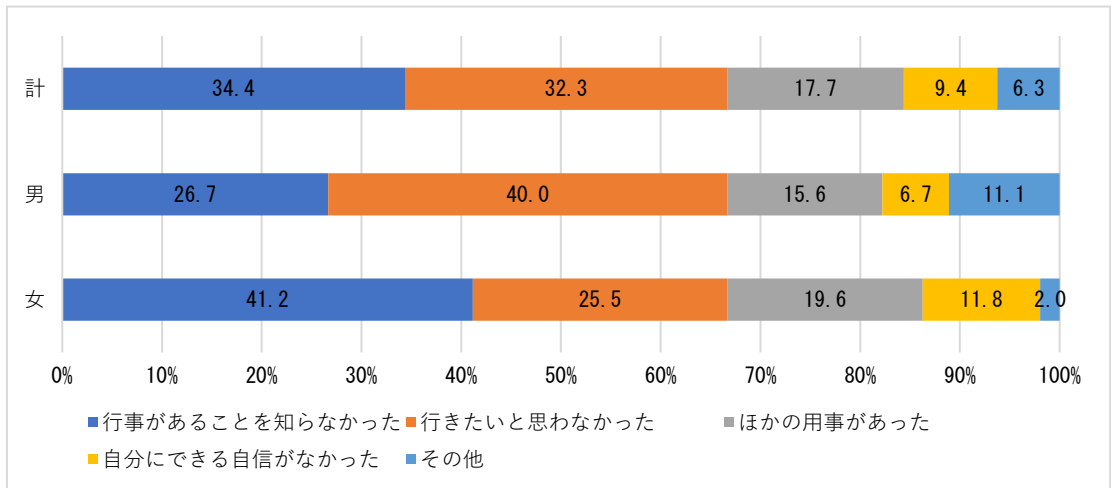
	男	女	計
外遊び（おにごっこ、ケイトロ、キャッチボール、ボール遊び、なわとびなど）	25	28	53
野球	16	4	20
遊具遊び（すべり台、フラホ、鉄棒、一輪車など）	5	12	17
ダンス（フラダンス、チアダンスなど）	1	16	17
バスケットボール	8	8	16
バドミントン	5	10	15
サッカー	10	4	14
陸上競技	5	9	14
卓球	4	5	9
ジョギング・ランニング	2	5	7
空手	3	4	7
バレーボール	3	3	6
水泳競技	1	5	6
剣道	5	1	6
釣り	6	0	6
テニス	1	4	5
ウォーキング・散歩	0	5	5
ソフトテニス	1	3	4
柔道	2	2	4
弓道	2	1	3
ソフトバレーボール	0	2	2
サイクリング	2	0	2
レスリング	1	0	1
スキー・スノーボード	1	0	1
スケート	0	1	1
キャンプ	0	1	1
軽い体操（ラジオ体操など）	0	0	0
ボウリング	0	0	0
登山・ハイキング	0	0	0
その他	3	3	6

【問 9】 あなたは、この 1 年間に平生町内で開かれたスポーツ行事に参加しましたか。

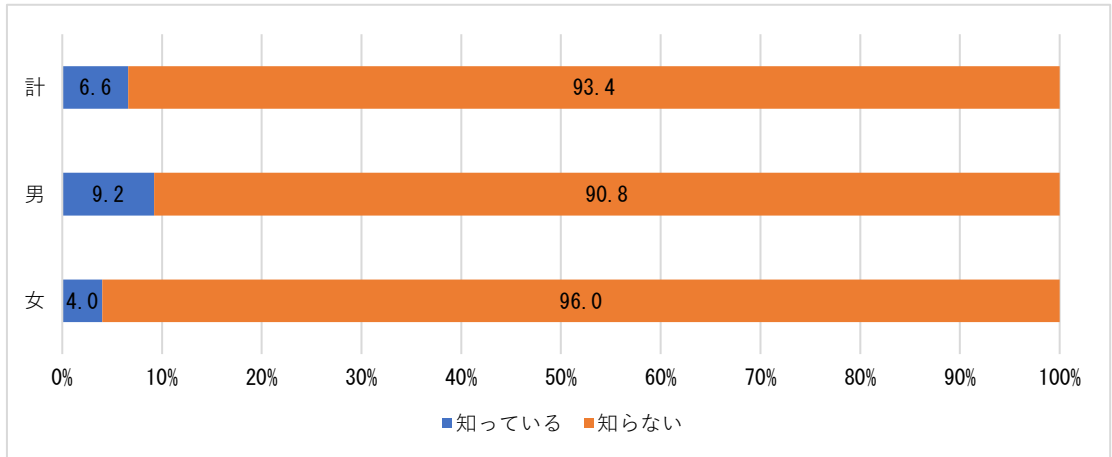
おもなスポーツ行事：ウォーキング大会、ファミリースポーツ・レクリエーション大会、駅伝大会 など



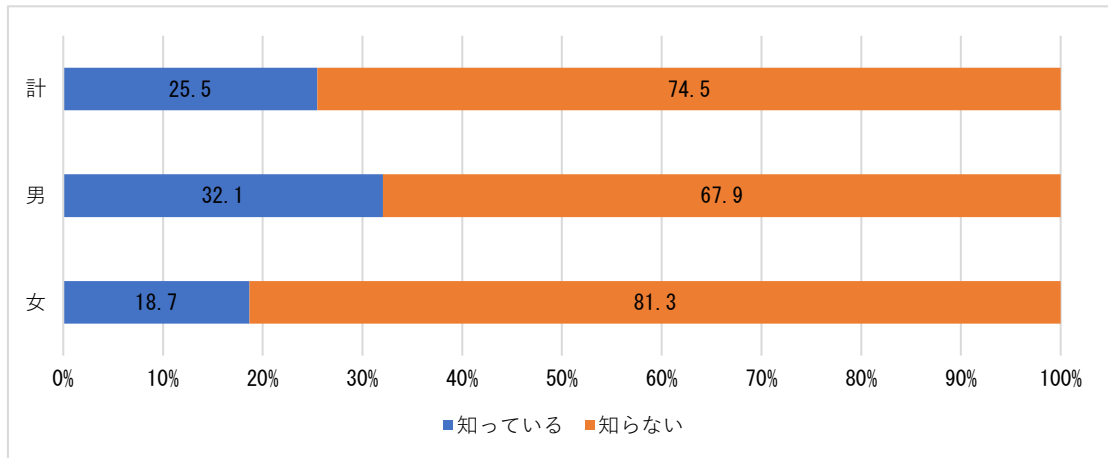
【問 9-2】 問 9 で「2. ない」と答えられた方にお聞きします。その理由はなんですか。1つだけ選んでください。



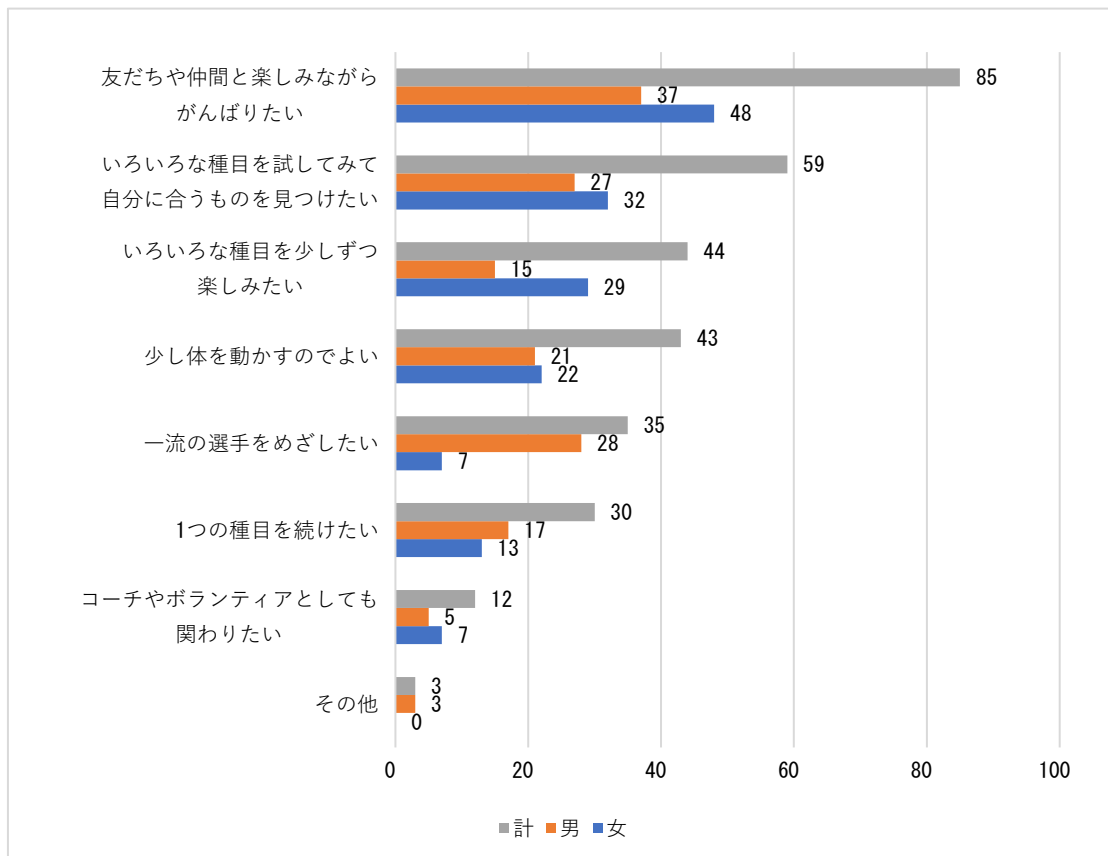
【問 10】 あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。



【問 11】あなたは、中学校の休日の部活動が、将来、地域でおこなわれることを知っていますか。



【問 12】将来、学校の部活動だけでなく、地域でもスポーツがさかんに行えるようになったら、どのような活動をしてみたいと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。(複数回答・人)



○スポーツに関する意見（自由記述）

いただいたご意見を集約し、テーマごとに分類しました。

【成人】

1) 「気軽に・無理なく・楽しく」参加できる場がほしい

- ・競技志向よりも、遊び感覚/健康目的で続けられる環境が必要
- ・既存グループは「入りにくい」「入口が狭い」と感じる人がいる
- ・仕事や子育てで時間が取れない人でも参加できる形が求められている

2) 高齢者・体力に不安がある人向けの“やさしい運動”ニーズ

- ・70-80代中心に、簡単にできる運動・軽負荷の運動を望む声
- ・「スポーツ」と言われるとリハビリ目的の人にはハードルが高い、という指摘
- ・外出・交流の機会(引きこもり防止、認知症予防)としての運動も期待

3) 子どものスポーツ環境(場・仲間・継続)への不安と支援要望

- ・子どもができるスポーツの支援・サポートを求める声
- ・人口減で仲間が少なく、モチベーションが続かない
- ・「中学生の場が弱い/少ない」など、年代の“谷間”が課題

4) 中学校部活動の地域展開への要望や懸念

- ・町や郡で一体的に取り組んでほしい
- ・指導者不足、質、勝利至上主義によるトラブル懸念
- ・保護者の金銭・送迎負担増、格差の拡大、人材流出への懸念

5) 熱中症対策(屋外・屋内)を早急に強化してほしい

- ・夏の練習は危険、体育館でも暑い
- ・空調(冷房)や大型ファン、電源・水の確保など具体要望

6) 施設・環境整備の要望(ウォーキング/ジョギング/公園/サイクリングコース)

- ・柳井のウェルネスパーク等のように、気軽に歩ける/走れる場所が町内にほしい
- ・公園が少なく、地域単位で安全に遊べる場所がない
- ・サイクリングロード/コースがほしい

7) 町施設の利便性向上(予約のオンライン化、情報の見える化)

- ・体育館などの空き状況をネットで見たい
- ・予約・手続きもオンラインで完結してほしい

8) 情報発信・啓発による参加のきっかけ作り

- ・広報・ネット・掲示板・YouTube等での発信要望
- ・サークル一覧を配布してほしい

9) 多様なメニューの要望：ニュースポーツ、eスポーツ、ストレッチ系、個人利用

- ・屋外推進一辺倒は暑さの面で現実的でないので、屋内やeスポーツも選択肢に
- ・ピラティス/ストレッチ/呼吸法、代謝アップ系の要望
- ・団体が苦手なので個人でできる運動/施設利用を望む声

10) 町の活性化・知名度向上(イベント、誘致、観戦、ブランド化)

- ・既存イベント(サイクルフェスタ等)の連携と充実への期待
- ・大会開催・観戦機会、プロ/アマ誘致、町民レク大会の継続発展
- ・ネーミングライツ等で財源を確保し、地域クラブ育成へ回す提案もあり

付記：少数だが重要な“運営・人間関係”の課題

- ・指導現場での価値観対立や閉鎖性により、担い手が離れたという深刻な声
- ・参加者が減って仲間が集まらない、既存組織へ入りづらい、など継続性の問題

【中高生年代】

1) スポーツの価値(健康・体力・気分転換)

- ・健康づくり、体力向上、体調管理、運動不足解消に必要
- ・いいプレーができた時の達成感、爽快感がある
- ・将来に役立つ(体力・健康の土台)と捉えている

2) 「楽しくやりたい」= ゆるく参加したい層が多い

- ・友達や家族とゆるくやりたい、無理のない範囲でやりたい
- ・「みんなが楽しくできる」雰囲気や運動が良い

3) 「本気で強くなりたい」= 競技志向・目標達成ニーズ

- ・全国大会に出たい、優勝したい、新人戦で勝ちたい
- ・楽しみながらも真剣に続けたい、強くなりたい
- ・もっといろいろなチームと戦いたい(対外試合・交流機会の拡大)

4) 機会が少ない/運動できる場が足りない

- ・「楽しいが、やる機会が少ない」「機会を作ってほしい」
- ・運動できる場所・施設を増やしてほしい
- ・スポーツをしている場所を教えてほしい(チラシなどでの案内)

5) 施設整備の具体要望(グラウンド・体育館等)

- ・芝のグラウンドがほしい、体育館を広くしてほしい
- ・全般に「環境が整っていないので改善してほしい」という声

6) 部活動の縮小・将来の地域移行への不安(継続の壁)

- ・部活動種目が減り、小学校から継続が難しい
- ・地域クラブになることを知らなかった(認知不足)
- ・近隣クラブだと保護者送迎になるので参加しにくくならないか不安

7) 初心者・苦手な人の参加ハードルが高い

- ・苦手意識があり、イベントに参加したい/楽しいと思えない
- ・経験者と一緒にやるのが不安なので、初心者が一から学べるクラブがほしい
- ・失敗しても挑戦できる雰囲気づくりが必要

8) 新しい選択肢への期待(地域にない種目)

- ・ラグビー、eスポーツなど、周辺にないクラブができれば良い
- ・参加が増えると、今広まっていないスポーツも知られていく、という期待

平生町スポーツ推進審議会委員名簿

役職名	氏 名	所属団体及び役職名
会長	大田 眞	平生町スポーツ推進委員
副会長	福山 圭子	平生町小・中合同学校運営協議会長
委員	叶山 雅隆	平生町スポーツ協会会長
委員	池村 忠	平生町スポーツ協会副会長 平生町スポーツ少年団本部長
委員	山本 哲之	平生中学校長
委員	山下 美華	佐賀小学校長
委員	遠藤 敦子	平生ゆうゆうクラブ事務局長
委員	末廣 由美子	ミセス平生代表者（体育館利用団体）
委員	明代 正美	学識経験者

第2期 平生町スポーツ推進計画

編集・発行

平生町教育委員会 社会教育課

〒742-1195

山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1

TEL 0820-56-6083

FAX 0820-56-7151

メール kyouiku3@town.hirao.lg.jp
